

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	生活困窮者自立支援事業	事業番号	112101
担当部署名	福祉保健部	福祉課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	1:地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策	2:生活支援の充実		

2. 事業概要

「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活保護に至る前段階の生活困窮者に対し、住宅手当の支給や学習支援等、自立に向けた支援を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報提供及び助言を行い、様々な支援を一体的かつ計画的に行うことで、生活困窮者の自立促進を図ります。 離職により住宅を失った生活困窮者等に対して、家賃相当の「住居確保給付金」（有期）を支給します。 貧困の連鎖の防止のため、生活保護受給世帯の子どもを含む生活困窮世帯の子どもに対する学習支援事業を、広島市と連携して実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者からの相談を包括的に受け付け、困窮者の自立に向け、自立相談支援事業による支援や他制度が利用できるよう関係機関と連携を図りました。（新規相談者数222人・延べ相談者数353人） 「住居確保給付金」の支給予定者を1件見込んでいましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により対象者は大幅に拡大し、申請件数57件に対して、決定件数54件の支給を行いました。 広島市が実施する「生活困窮世帯学習支援事業」について協定を結び、集合型学習支援を行いました。参加者数は中学校3年生1人でしたが、高校へ進学できました。 広島市が実施する「一時生活支援事業」について協定を結び、一時生活支援を行いました。住居のない2名の住居確保を支援しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	相談者数	人	目標値	125	130	135	140	145
			実績値	95	123	145	135	353
			達成状況	未達成	未達成	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		生活困窮者の現状を把握し、ケースにあった支援を行い自立につなげるため、相談者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	318	181	0	0	0	137
決算	5,416	4,040	0	0	0	1,376

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標を達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者からの相談が増加しましたが、適切に情報提供や求職活動支援等を行いました。	
作成担当課長	福祉課長 長西 弘子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標を大幅に達成しました。 新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者からの相談の増加によるものですが、相談者に寄り添い、適切な支援等を行いました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域生活支援強化事業	事業番号	113101
担当部署名	福祉保健部	福祉課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	1:地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策	3:障がい者福祉の充実		

2. 事業概要

障がい者の地域生活を支援し社会参加を促進するため、障がい者施設への通所交通費やタクシー料金の助成を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者の経済的負担を軽減し、通所を促進させ、社会復帰及び社会参加を促進するために、通所交通費を助成します。また、新規通所者に対して、受給者証送付時に案内を行います。 ○ バス等の交通機関を利用することが困難な重度障がい者の自立生活及び社会参加を促進するために、タクシーの利用料金を助成します。また、広報で周知するとともに、手帳交付時に案内を行います。 ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の福祉の増進を図るために、その保護者に対して、重度心身障がい者介護手当を支給します。また、対象年齢到達又は障がい等級変更等による新規対象者に対して、案内を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者施設に通所する障がい者へ通所のための交通費を助成しました。（案内145人（うち更新93人、新規52人）、助成利用者123人） ○ 重度障がい者の社会参加を促進するために、タクシー料金を助成しました。（案内60人、交付人数615人） ○ 重度心身障がい者（5歳以上20歳未満）の生活支援として、手当を支給しました。（案内1人、受給者数8人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	障がい者施設通所交通費助成利用者数	人	目標値	87	93	99	106	114
			実績値	100	103	119	117	123
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設通所への交通費の助成を行い、障がい者の社会参加を促すことが目的のため、障がい者施設通所交通費助成利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	17,168	0	0	0	0	17,168
決算	13,994	0	0	0	0	13,994

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
障がい者の社会参加のための通所事業の利用促進、タクシー料金の助成等により地域生活を支援し、事業目標を達成しました。	
作成担当課長	福祉課長 長西 弘子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標を達成しました。 引き続き、障がい者の社会参加のための通所事業の利用促進、タクシー料金の助成等により地域生活を支援します。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	精神障がい者通院医療費助成事業	事業番号	113102
担当部署名	福祉保健部	福祉課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	1:地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策	3:障がい者福祉の充実		

2. 事業概要

精神障がい者の医療費負担の軽減を図るため、通院医療費の助成を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険の被保険者に対して、自立支援医療費に係る自己負担額の1/2を助成します。また、受給者証送付時に、助成案内を行います。	○ 自立支援医療（精神通院）受給者のうち、国民健康保険以外の健康保険の被保険者へ、自立支援医療費に係る自己負担額の1/2を助成しました。 ・ 助成対象者数595人（助成案内者数595人） ・ 申請件数336件（実人数195人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	助成対象者数	人	目標値	-	424	442	461	480
			実績値	-	497	517	561	595
			達成状況	-	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		精神障がい者の医療費の自己負担を一部助成することで、適切な受診につなげるとともに社会復帰・社会参加を促進するため、助成対象者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,588	0	0	0	0	3,588
決算	2,223	0	0	0	0	2,223

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
制度の周知に努め、事業目標を達成しました。	
作成担当課長	福祉課長 長西 弘子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標を達成しました。 精神障害者の社会復帰と医療費負担の軽減を図るため、引き続き、通院医療費の助成を継続して行うとともに、必要な人に制度が行き渡るように、広く周知していきます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	障がい者雇用促進等事業	事業番号	113103
担当部署名	福祉保健部	福祉課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	1:地域で共に支え合う福祉の充実		
単位施策	3:障がい者福祉の充実		

2. 事業概要

精神及び知的障がい者を雇用し、一般就労への移行を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 障がい者支援事業所等と連携して、障がい者（精神・知的）を臨時職員として雇用します。（雇用者数2人）	○ 障がい者支援事業所等と連携して、障がい者を会計年度任用職員として雇用しました。また、連携する事業所を増やし、知的障がい者も初めて雇用しました。（雇用者数3人、うち新規2人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	新規雇用者数	人	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	2	1	2	2
			達成状況	-	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		障がい者を雇用することにより、雇用・就業、経済的自立の支援を行うため、雇用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	48	0	0	0	0	48
決算	44	0	0	0	0	44

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
障がい者支援事業所と連携して新たに知的障がい者の雇用を行うなど、事業目標を達成しました。	
作成担当課長	福祉課長 長西 弘子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標を達成しました。 知的障がい者等の雇用等については、障がい者支援事業所と連携しながら、継続していきます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	ふらっとウォーキング事業	事業番号	121101
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

ふらっとウォーキングコースを活用した講座を開催して運動に取り組むきっかけを作り、住民の健康増進を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ ふらっとウォーキングコースを活用した「ポールでアクティブにウォーキング」を開催します。（年2回） ○ 運動普及推進協議会に対し、ふらっとウォーキングコースを活用したイベントの開催を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふらっとウォーキングコースを活用した「ポールでアクティブにウォーキング」を次のとおり開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施回数：2回（11月及び12月） ・参加者数：29人（第1回15人・第2回14人） ○ 運動普及推進協議会が主催するふらっとウォーキングコースを活用したイベントは中止となりました。 ○ 町ホームページ、チラシ等により、ふらっとウォーキングコースを周知し、コース利用を促すとともに標示シートの修繕を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	参加者数	人	目標値	140	190	190	190	190
			実績値	122	247	173	161	29
			達成状況	未達成	達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		健康保持増進を図るため、ウォーキングのきっかけづくりを行うことが目的のため、参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	302	0	7	0	0	295
決算	97	0	8	0	0	89

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の大部分が中止となり、参加者数を制限したりしたため、目標を達成することができませんでした。個人で行うウォーキングは感染のリスクが低いいため、ふらっとウォーキングコースの活用を促すために、町ホームページ及びチラシの配布等により、コースの周知に努めました。	
作成担当課長	健康推進課長 塩月 久美子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業の大部分が中止又は参加者数を制限したため、目標を達成できませんでした。 一方で、感染のリスクが低い個人で行うウォーキングに、ふらっとウォーキングコースを活用してもらえるように、町のホームページやチラシの配布等により周知に努めました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	妊婦歯科健康診査事業	事業番号	121102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

妊婦に歯科健診を実施し、妊婦の虫歯や歯周疾患を予防するとともに、生まれてくる子どもへの影響の低減を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠届け出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付します。（1人あたり1回無料。健診見込み件数300件） ○ 妊娠6か月頃に行う産前コール、マタニティ教室において、妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠届提出時に、母子健康手帳と併せて妊婦歯科健康診査受診票を交付し、妊婦に歯科健診を実施しました。 【実績数】 受診票交付数 522人 歯科健診受診者数 308人 ○ 妊娠6か月頃に行う産前コール、マタニティ教室において、妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受診率	%	目標値	48.0	48.0	48.0	48.0	48.0
			実績値	49.5	47.4	46.9	52.1	59.0
			達成状況	達成	未達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		妊婦の虫歯や歯周疾患を予防し、生まれてくる子どもへの影響を低減すること等が目的のため、受診率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,439	0	0	0	0	1,439
決算	1,792	0	0	0	0	1,792

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
母子健康手帳交付時や平成30年11月から開始した産前コール時に妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行うことにより、受診率が向上し、目標達成となりました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
母子健康手帳交付時や平成30年11月から開始した産前コール時に妊婦歯科健康診査の受診勧奨を行うことにより、受診率が向上し、目標達成となりました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	節目年齢歯科健診事業	事業番号	121103
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

<p>節目年齢（40・50・60・70歳）の住民に歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図ります。</p>
--

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 節目年齢（40・50・60・70歳）の住民を対象に、歯科健康診査（むし歯と歯周病の検査）を実施します。（受診者見込数343人） ○ 広報やホームページ等により、事業の周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 定期的な歯科健診の受診機会を設け、成人の口腔衛生の向上を図るため、節目年齢（40・50・60・70歳）の住民に歯科健診を実施しました。 対象者数 2,669人 受診者数 471人 ○ 広報ふちゅう5月号、12月号およびホームページにより、事業の周知を図りました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受診率	%	目標値	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5
			実績値	12.7	11.6	12.0	11.4	17.6
			達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		定期的な歯科健診の受診機会を設けることで口腔疾病の予防を図るため、受診率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,469	0	508	0	0	961
決算	1,882	0	490	0	0	1,392

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
対象者への個別通知及び広報等による周知を行い、目標を達成しました。	
作成担当課長	健康推進課長 塩月 久美子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
対象者への個別通知及び広報等による周知を行い、目標を達成しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	健康づくり啓発事業	事業番号	121104
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

「第2次府中町健康増進計画・食育推進計画（改定版）」に基づき、健康マイレージ制度等による健康意識の向上や健康づくりを支援し、人とのつながりを深めながら、住民の健康増進を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)に基づき、健康マイレージ制度を活用した健康づくりを推進します。 ○ 町民や関係機関等が参加・参画して、食育の推進、健康づくり・こころの健康づくりを目指した事業等を実施します。 ○ 様々な場面を捉え、健康に関心が少ない人にもアプローチしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例年7月～9月に実施している健康マイレージ制度ですが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、実施期間を9月～11月に移動させて実施しました。（参加延人数：16,425人） ○ 町民及び関係機関・団体等と協働し、第2次府中町健康増進計画・食育推進計画(改定版)に基づく「元気配達人出張事業」等の提案事業を実施しました。 ○ Youtube府中町公式チャンネルに登録している「朝パツ君体操」動画のQRコードを健康マイレージ制度のチラシに掲載し、コロナ禍において感染リスクが低い個人での運動を促しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	健康づくり活動への参加者数	人	目標値	26,200	26,400	26,600	26,800	27,000
			実績値	53,959	55,371	62,347	66,892	60,861
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		健康意識の向上と自主的な健康づくりを促すことが目的のため、健康づくり活動への参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,354	0	0	0	962	1,392
決算	1,626	0	0	0	962	664

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
健康づくり活動の参加者は、令和元年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により約1割減少しましたが、目標を達成することができました。 コロナ禍においても、個人の運動の実践を促進するため、動画配信サイトを活用したり、感染症対策に取り組みながら実践活動に取り組むなど、事業展開を行っています。	
作成担当課長	健康推進課長 塩月 久美子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
健康づくり活動の参加者は、令和元年度と比較すると、約1割減少しましたが、目標を達成できました。 コロナ禍においても、感染症対策をしながら、健康づくり事業について継続実施しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	任意予防接種費用助成事業	事業番号	121105
担当部署名	福祉保健部	健康推進課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

感染症を予防するため、おたふくかぜ・成人風しんの予防接種対象者へ接種費用の一部を助成し、予防接種の普及・啓発を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ おたふくかぜの予防接種費用の一部を助成します。（上限6,000円、助成件数見込932件） ○ 風しん抗体検査で抗体価が十分でないと判断された今後妊娠を希望する女性等を対象に、成人風しんの予防接種費用の一部を助成します。（上限5,000円、助成件数見込88件） ○ 広報やホームページ等により、事業の周知を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 感染症を予防するため予防接種の普及・啓発を図るとともに、任意予防接種（小児おたふくかぜ・成人風しん）対象者の接種費用の一部助成を行いました。 小児おたふくかぜ 対象者数1,036人 接種者数732人 成人風しん 接種者数86人 ○ 広報ふちゅう4月号やホームページ等により、事業の周知を図りました。 ○ 令和2年度に限り、新型コロナウイルス感染症対策のため、生後6か月～小学2年生の子どもと妊婦に対してインフルエンザ予防接種の費用助成を行いました。 子ども 接種件数5,106件 妊婦 接種件数180件

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	接種率（おたふくかぜ）	%	目標値	80.0	80.0	80.0	90.0	90.0
			実績値	137.0	94.3	82.9	87.7	70.7
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	未達成
②	助成件数（成人風しん）	件	目標値	130	130	130	130	130
			実績値	27	74	102	88	86
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法			①感染症予防を図るため、接種率を指標としました。②風しんの抗体がない人が対象のため、助成件数を指標としました。					

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,037	0	0	0	0	6,037
決算	15,237	0	0	0	0	15,237

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
小児おたふくかぜは、新型コロナウイルス感染症の流行が影響した可能性もありますが、接種率が低下し、目標値に達しませんでした。令和3年度は費用助成回数を1人につき1回から2回へ増やすこととしています。成人風しんは、前年度と比較して微減し、目標値に達しませんでした。任意予防接種費用助成事業については、引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めます。	
作成担当課長	健康推進課長 塩月 久美子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
小児おたふくかぜは、接種率が低下し、目標値を達成できませんでした。令和3年度は費用助成回数を1人につき1回から2回へ増やすこととしています。成人風しんも、前年度と比較して微減し、目標値に達成できませんでした。任意予防接種費用助成事業については、引き続き医療機関への協力依頼や広報等を活用し、接種率の向上に努めます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	産科医等確保支援事業	事業番号	121106
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	2:地域連携による生涯を通じた健康づくりの推進		
単位施策	1:ライフステージに応じた健康づくりの支援		

2. 事業概要

町内で安心、安全に妊娠・出産できるよう、分娩手当を支給することにより、産科医等の確保を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 産科医療機関に対し、1分娩あたりの分娩手当10,000円×2/3の補助金を交付します。（分娩見込み件数866件）	○ 町内の医療機関（産科）に対し、1分娩あたり分娩手当10,000円×2/3の補助金を交付しました。 【実績数】 分娩件数 879件

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	産科医院数	医院	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1	1
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町内産科医の処遇改善を図り、町内の産婦人科を維持するため、産科医院数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,773	0	4,330	0	0	1,443
決算	5,860	0	3,906	0	0	1,954

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標は達成しましたが、産科医等の処遇は引き続き厳しい状況であり、事業を継続する必要があります。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標は達成しました。 産科医等の現状を考慮すると、事業を継続する必要があります。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	子育て応援事業	事業番号	131101
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

育児の援助を受けたい人（お願い会員）と援助を行いたい人（任せて会員）が、会員登録を行い相互援助するファミリー・サポート・センターを設置し、子育てを地域で支援することで、仕事等と子育ての両立を図ります。結婚支援事業、子育て支援事業等を実施し、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援を進めます。ひとり親家庭等の児童の保護者等に対し、小学校又は中学校入学時に、1人あたり5万円の入学祝金を支給します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の急用時等に一時的にお子さんを預かるファミリーサポートセンター事業を行います。 ○ 妊娠、産後、0歳児から2歳児のパパママを対象に、ステージ別の講習会を実施します。【地域子育て支援センター2か所（府中ひかり保育園・若竹保育園）で各5回予定】 ○ 未就学児を抱える子育て家庭へ子育て応援カードを配布し、かかりつけ保育所・幼稚園を設定することで気軽に相談でき、また協賛店による子育て支援も受けられる体制を構築します。 ○ 乳児全戸訪問時にバスロープを配布します。 ○ 未婚化及び晩婚化を起因とする少子化に対処するため、結婚を希望する独身男女に出会いの場を提供する事業に対し補助金を交付します（1団体、上限10万円）。また、平成30年度から出会いの場の創出として、年に2～3回、こいの輪カフェを計画しています。 ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出します。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（8台）、幼稚園5園（各2台）】 ○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝いを支給します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護者の急用時等に一時的に子どもを預かるファミリーサポートセンターにおいて、37件の支援を実施しました。 ○ 児童虐待対策として子育て支援センター及び児童センターにおいて例年実施している子育て中の親子を対象とした講習会等については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 未就学児を抱える子育て家庭へ子育て応援カード（イクフレカード）を配布しました。（令和2年度未登録者数2,080人） ○ 乳児全戸訪問時にバスロープを配布しました。（令和2年度配布数486枚） ○ 少子化対策事業として例年実施している、出会いの場を提供する事業者への補助金交付や、婚活イベントの開催については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 町内の保育所、認定こども園、幼稚園に通園する1歳以上6歳未満の児童を2人以上養育する保護者に、3人乗り自転車を貸し出しました。【保育所5園（各6台）、認定こども園1園（8台）、幼稚園5園（各2台）】 ○ ひとり親家庭等の児童に対し、児童の成長を祝福し、児童の福祉の増進を図ることを目的に、小学校及び中学校入学時に入学祝いを支給しました。（小学校39件、中学校33件）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	子育て不安が解消された母親等の割合	%	目標値	70	70	70	70	70
			実績値	70	100	不明	87	78
			達成状況	達成	達成	不明	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		様々な子育て支援を実施した成果として、子育て不安が解消された母親等の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	10,789	953	1,275	0	0	8,561
決算	8,613	786	786	0	0	7,041

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや講習会等は実施できませんでしたが、子育て応援に係る事業は実施し、事業目標は達成しました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや講習会等は実施できませんでしたが、相談事業を含めた通常の子育て支援事業は継続実施したため、事業目標は達成しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	不妊治療費助成事業	事業番号	131102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

不妊検査を含めた一般不妊治療及び特定不妊治療（体外受精、顕微授精及び特定不妊治療を行うための男性不妊治療）に要する費用に対し、広島県が行っている一部助成に加え、町独自の助成を行うことにより、対象者の負担軽減を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の1/2を助成します。（上限5万円・千円未満切捨て） ○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成します。（1回あたり上限15万円、治療内容によっては上限7万5千円） ○ 特定不妊治療のために行った男性不妊治療にかかった費用の一部を助成します。（上限15万円、治療内容によっては除外あり） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象となる不妊検査・一般不妊治療にかかった費用のうち、自己負担額の1/2を助成しました。（上限5万円）26件 ○ 特定不妊治療にかかった費用の一部を助成しました。（1回あたり上限15万円または7万5千円）94件 ○ ホームページ及び広報で制度の案内を行い、助成利用の周知を図りました。 ○ 特定不妊治療のために行った男性不妊治療に係る申請は0件でした。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	助成件数	件	目標値	83	83	83	83	83
			実績値	61	92	116	111	120
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		経済的負担を軽減することで不妊治療を受けやすくするため、助成件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	11,433	0	0	0	0	11,433
決算	11,923	0	0	0	0	11,923

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標値をかなり上回る実績値となり、対象者の経済的負担を軽減できました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標値をかなり上回る実績値となり、対象者の経済的負担を軽減できました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	養育支援訪問事業	事業番号	131103
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

養育支援が必要と認められた家庭において、適切な育児・家事の援助及び専門的な訪問支援事業を実施することにより、養育者への継続的な支援を確保します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児に不安や悩みをお持ちの方の気軽な相談場所として出張相談を行います。（月1回程度予定） ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別にご家庭を訪問して相談支援を実施します。（2人*2回*12か月予定） <p>なお、相談支援の結果、必要な場合は家事・育児補助を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童センターへの出張相談については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ○ 保健師等の専門知識のある職員が個別に家庭を訪問して相談支援を実施しました。（297回） <p>なお、家事・育児補助は5家庭で98回実施しました。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	訪問数	件	目標値	150	150	150	150	200
			実績値	66	110	188	321	395
			達成状況	未達成	未達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		支援を必要とする人への着実な訪問支援の定着が目的のため、訪問数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	591	196	196	0	0	199
決算	173	56	56	0	0	61

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、出張相談は実施できませんでしたが、相談支援や家事支援は、目標値を大きく上回る実績値となり、養育者への支援ができました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、集団健診及び出張相談は実施できませんでしたが、相談支援や家事支援は、目標値を大きく上回る実績値となり、養育者への支援ができました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	児童センター事業	事業番号	131104
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

子育て支援及び青少年健全育成のため、児童センター「バンビーズ」「ハッピーズ」において、乳幼児から高校生までを対象に幅広い事業を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 地域の子育て支援の拠点として、乳幼児期の親子や18歳までの子どもがいつでも気軽に立ち寄れる居場所として児童センターを運営します。（府中南交流センター、府中北交流センター） 開館時間：午前10時から午後8時まで （正午から午後1時を除く） 休館日：バンビーズ 毎月第3日曜日及び年末年始 ハッピーズ 毎月第3日曜日 //</p> <p>○ 子育て広場やおはなし会など各種イベントを実施します。</p>	<p>○ 地域の子育て支援の拠点として児童センターを運営し、乳幼児から高校生までの子どもに遊びを提供するとともに、乳幼児期の親子の居場所づくりを行いました。</p> <p style="text-align: right;">来館者数 開館日数</p> <p>マイフローラ南交流センター：21,627人 266日 府中北交流センター：21,783人 279日 ※府中北交流センターの開館日数の内13日間はカンガルー広場のみ開館しました。</p> <p>○ 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や大型イベントの自粛等を行ったため、利用者数としては目標未達成となりましたが、検温や消毒、密を避けるなどの感染症対策を行いつつ行事や遊びの提供を実施しました。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年4月1日～13日の間はカンガルー広場のみの開館となったため、指標の算出に当たっては全館開館していた5月以降の利用状況を基に算出しています。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	利用者数(1日当たり)	人	目標値	120	220	220	220	220
			実績値	126	311	287	288	163
			達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		乳幼児親子や子どもの居場所づくりを目的としているため、一日当たり利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	43,817	1,581	1,599	0	0	40,637
決算	41,338	1,613	1,631	0	0	38,094

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、人数制限や大型イベントの自粛等を行ったため、利用者数としては目標未達成となりましたが、緊急事態宣言など以外では、検温や消毒、密を避けるなどの感染症対策を行いつつ行事や遊びの提供を実施しました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数の制限や大型イベントの自粛等を行ったため、利用者数としては目標未達成となりましたが、検温や消毒、密を避けるなどの感染症対策を行い、日々の遊びの提供を継続実施しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	放課後児童クラブ(留守家庭児童会)運営事業	事業番号	131105
担当部署名	福祉保健部 子育て支援課	教育委員会	社会教育課
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

就労等の理由で昼間家庭に保護者が不在の児童を対象に、放課後や長期休業中の生活の場として、放課後児童クラブ(留守家庭児童会)を運営します。また、開設時間の延長については、夏季休業から実施できるよう取り組みます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時30分から午後6時までの間、適切な遊びや生活の場を提供します。 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加します。 サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加します。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月8日から開設時間を拡充し、町内全ての小学校で、平日は下校時から午後6時30分まで、長期休業・土曜日は原則として午前8時から午後6時30分までの間、適切な遊びや生活の場を提供しました。 運営体制を強化するため、広島県放課後児童支援員認定研修に参加しました。(2人) サービスの質を高めるため、指導員等専門研修に参加しました。(15人)

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	受入児童数	人	目標値	647	647	647	647	647
			実績値	631	712	790	752	678
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		就労等の理由で昼間家庭に保護者が不在の児童に活動場所を提供するため、受入児童数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	72,538	24,179	24,179	0	0	24,180
決算	70,880	24,585	22,533	0	0	23,762

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
受入れ児童数は前年度より減少しましたが、目標は達成しました。令和2年8月から利用時間の延長を開始しました。今後は延長利用を含め、安全な運営ができる指導員の配置（増加）、処遇改善加算及び職場環境改善が必要となります。施設修繕を行う必要があります。	
作成担当課長	社会教育課長 山本 進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和元年度の利用者アンケートの結果を基に、令和2年度は8月から開設時間の延長も実現しました。今後も、引き続き指導員等の労務環境の負担軽減を図り指導員確保に努め、安定した放課後児童クラブの運営を目指していきます。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	ネウボラセンター事業	事業番号	131107
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3:多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	1:子育て世代への重点支援		

2. 事業概要

安心して妊娠・出産・子育てができる切れ目のないサポート体制を強化し、子育て家庭の負担の軽減を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援します。また、母子保健カルテのデジタル化により、情報共有の推進と業務効率化を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 妊娠期から0歳期に行う事業（マタニティ教室、4か月児すこやか赤ちゃん広場、9か月児のびのび赤ちゃん広場）を毎月町内3ヶ所（福寿館、南北交流センター）で実施します。 ○ 妊娠中から産後4か月までの妊産婦を対象に、保健師等による産前産後サポート事業（電話、来所、訪問、メールによる寄り添い支援）を実施します。 ○ 乳児健康相談の対象者について、新たに妊婦・幼児も対象とし、妊婦・乳幼児健康相談として毎月町内3ヶ所（福寿館、南北交流センター）で実施します。 ○ 産後2週間・4週間コールを新設します。 ○ 産後4か月までの産婦を対象に産後ケア事業（宿泊型、デイサービス型、母乳ケア）を実施します。 ○ 産後ケア事業の利用に係る自己負担額の一部（1/2相当額）を助成します。 ○ タブレット入力による電子カルテを導入し、紙で管理している母子保健カルテをデジタル化します。 ○ ネウボラふちゅうの啓発グッズ（手提げ袋、ミニタオル）による啓発を行い、利用促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月町内3ヶ所で開催予定であった①～④の事業について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、①～③はオンライン実施、④は中止としました。 ①妊娠中期マタニティ教室（参加率8.0%） ②4か月児すこやか赤ちゃん広場（参加率90.9%） ③9か月児のびのび赤ちゃん広場（参加率93.4%） ④妊婦・乳幼児健康相談・栄養相談（中止） ○ また、産前産後サポート事業等として次の⑤～⑧の事業を実施しました。（⑧は令和2年度から新設） ⑤産前産後サポート事業（実施件数42件） ⑥産前コール（参加率75.0%） ⑦産後ケア事業（宿泊1件、デイ3件、母乳ケア102件） ⑧産後2週間コール（参加率77.0%）、4週間コール（参加率81.4%） ○ さらに、広報紙にネウボラふちゅうだよりを年6回掲載するとともに、啓発グッズ（手提げ袋、ミニタオル）、つばきバスや役場の行政情報モニターでの啓発を行いました。 ○ 電子カルテの開発を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	相談件数	人	目標値	-	-	2,905	3,262	3,329
			実績値	-	-	3,020	3,317	3,005
			達成状況	-	-	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		母子保健・子育て支援サービスの充実を図ることを目的に、身近な相談支援の場所として、「ネウボラふちゅう」を開設するため、相談件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	27,055	2,313	20,548	0	0	4,194
決算	51,133	2,436	45,896	0	0	2,801

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部の事業を中止又は実施方法を変更して行ったため、事業目標は未達成となりましたが、教室や広場についてオンラインで実施し、引き続き行うことができました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業の中止又は実施方法の変更を行ったため、事業目標は未達成となりました。 教室や広場についてオンラインを活用して継続して実施するなど、新しい事業の形ができました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域子育て支援拠点事業	事業番号	132101
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3: 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2: 子育て環境の確保		

2. 事業概要

「地域子育て支援センター」並びに児童センター「バンビーズ」「ハッピーズ」を拠点に、オープンスペース、子育て広場、育児相談等様々な事業を実施し、安心して子育てができるよう地域に根差した子育て支援を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座（交流センターや公民館など町内10ヶ所）や育児講座、育児相談、絵本の貸出しなどを年間を通じて実施し、育児不安の緩和や子どもの健やかな育ちを支援するため、府中ひかり保育園地域子育て支援センターと若竹保育園地域子育て支援センターに対して補助金を交付します。 ○ 「地域子育て支援センター」・「バンビーズ」・「ハッピーズ」を拠点に、子育てイベントを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出前講座 年間 78回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・府中ひかり保育園 12回開催 延 270人参加 ・若竹保育園 66回開催 延1,570人参加 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部事業を中止しているため、開催回数及び参加者が減少しています。府中ひかり保育園と若竹保育園に対して補助金を交付しました。 ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、子育てイベントは中止しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	つどいの広場（出前講座）の参加者数	人	目標値	8,600	8,600	8,600	8,600	8,600
			実績値	8,881	9,371	9,237	6,124	1,840
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		未就学児親子の交流・情報交換の場の提供が目的のため、つどいの広場の参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	16,304	5,434	5,434	0	0	5,436
決算	16,540	5,513	5,513	0	0	5,514

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため一部の事業を中止しているため、開催回数及び参加者が減少し、目標は未達成となりました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業の一部中止、又は開催回数及び参加者を縮小したため、目標は未達成となりました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	病児・病後児保育事業	事業番号	132102
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3: 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2: 子育て環境の確保		

2. 事業概要

病気又は病後の子ども（生後6か月から小学校6年生まで）を、小児科医院内の病児保育室において一時的に預かるとともに、子どもの急な体調不良時の送迎サービスを行い、育児と就労の両立支援を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを看護できない保護者に代わり預かり保育を行います。 ○ 保育所等で体調を崩した子どもについて、保護者から依頼を受けた病児保育室の看護師、保育士が、保護者の代わりに保育所間を送迎し、病児保育室で預かり保育を行います。 ○ 広域利用協定により、他市町の病時保育室を利用した子どもに係る負担金を支払います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 向洋こどもクリニック内の「病児保育室ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ435人（町内利用数246人、町外利用数189人）が利用しました。新型コロナウイルス感染症の影響により利用数は減少しています。 ○ 送迎サービスは、6件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は38人でした。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	利用者数	人	目標値	1,440	1,440	1,440	1,440	1,440
			実績値	1,275	1,282	1,063	1,195	473
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		保護者の子育てと就労の両立を支援する事業のため、利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	17,951	5,435	5,435	0	1,743	5,338
決算	16,378	5,091	5,091	0	840	5,356

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少したため、目標は未達成となりました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、病児保育室の利用者数が減少したため、目標は未達成となりました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	プラチナ保育支援事業	事業番号	132104
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3: 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2: 子育て環境の確保		

2. 事業概要

家庭で保育を受けることが困難な子どもを保護者に代わって近居（同居）の祖父母等が保育する場合に、保育手当を支給します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ プラチナ世代が子育てに参加することで三世代近居の促進を図るため、プラチナ手当の支給を行います。（児童1人につき月額15,000円） また、実態調査として家庭訪問を行います。	○ 祖父母等による保育の実施に対しプラチナ保育手当を支給しました。 （実利用者数24人） また、実態調査（家庭訪問）を10月に実施しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	年間保育所入所率	%	目標値	118	118	115	115	115
			実績値	115	115	117	113	101
			達成状況	達成	達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		近居の祖父母等が保育所に合わせて保育することで保育所入所抑制につながるため、年間保育所入所率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,420	0	0	0	0	3,420
決算	2,415	0	0	0	0	2,415

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標はほぼ達成しました。保護者は祖父母等の協力で安心して就労でき、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができるなどメリットがあり推奨するものです。家庭訪問による実態調査も行いました。引き続き、入所申請に来られた方にも案内していきます。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標は達成しました。保護者は祖父母等の協力で安心して就労でき、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができるなどメリットがある事業です。引き続き、入所申請に来られた方に事業の案内をしていきます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	保育所等創設助成事業	事業番号	132106
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3: 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2: 子育て環境の確保		

2. 事業概要

保育所ニーズの増加に伴う潜在的待機児童の解消に向けて、現在建設中の新設保育所に対し、施設整備に係る助成を引き続き行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 令和2年6月の開所を目指し現在建設中の新設保育所に対し、整備に対する補助を行います。	○ 令和2年6月に開所した、「こんごう さくら保育園」に対し、整備に対する補助を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	-	100	-
			実績値	-	-	-	60	100
			達成状況	-	-	-	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設の整備助成が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	93,492	82,645	0	8,600	0	2,247
決算	95,834	63,889	0	0	0	31,945

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
保育所整備の残り40%部分について補助をしました。令和2年6月に無事開所することができました。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年6月に、保育所を無事開所することができ、保育所整備の残り40%部分について補助を完了し、目標は達成しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	子どもの予防的支援構築事業	事業番号	132107
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課	
政策体系			
基本目標	1: みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	3: 多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策	2: 子育て環境の確保		

2. 事業概要

成育環境の違いに関わらず、全ての子どもが健やかに成長し、夢や希望を育むことができる環境の整備を目的に、関連する部門や機関が連携し、様々なリスクを抱える子どもを多面的・継続的に見守り支援する仕組みを構築します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 子どもの育ちに関する様々な情報をもとにAIを活用してリスクを予測し、予測結果を参考にして支援の必要性を判断し、最適な予防的支援を継続的に届ける仕組みを構築するため、実証試験を行います。（広島県モデル事業）</p>	<p>○ 校務支援システムの改修、福祉業務・住民記録、健康管理等のシステムからのデータ抽出に係るシステムを改修しました。</p> <p>○ マイナンバー領域とLGWAN領域との間の中継サーバーの構築及び中継サーバーからデータセンターへのファイル転送に係るソフトウェアを導入しました。</p> <p>○ AIモデルの開発及びAIの予測を表示するためのアプリケーションを開発しました。</p> <p>○ タブレットに係る閉域網の構築及びそれに関するセキュリティ対策を実施しました。</p> <p>○ AIのリスク予測を踏まえて支援を届けるまでのフローを関係部署、県と連携し作成しました。（広島県モデル事業）</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	AIを活用した予防的支援を届けるための仕組みの構築	-	目標値	-	-	-	-	構築
			実績値	-	-	-	-	構築
			達成状況	-	-	-	-	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		予防的支援を継続的に届ける仕組みが必要であることから、仕組みの構築を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	56,593	920	51,092	0	0	4,581
決算	51,034	933	48,090	0	0	2,011

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
システムの構築が概ね終わり、これからは検証を繰り返し、支援も行いながら仕組みを構築していきます。	
作成担当課長	子育て支援課長 金本 智巳

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度は、システムの構築が概ね終わり、目標は達成しました。令和3年度以降は、システムの内容の検証と支援を繰り返し実施しながら、仕組みを構築していきます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	シルバー人材センター助成事業	事業番号	141101
担当部署名	福祉保健部	高齢介護課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策	1:高齢者福祉の充実		

2. 事業概要

高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域の日常生活に密着した就業機会を確保・提案し、地域社会の活性化を図るため、シルバー人材センターに対し補助金を交付します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 高齢者の就業機会創出に対する支援として、府中町シルバー人材センターに対して補助金を交付します。	○ シルバー人材センターに対し補助金を交付し、高齢者へ就業機会の拡大を図り、高齢者の地域活動促進を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	会員数	人	目標値	390	393	395	396	396
			実績値	390	396	403	410	422
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		高齢者に就業の場を提供することが目的のため、会員数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	13,730	0	0	0	0	13,730
決算	13,730	0	0	0	0	13,730

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標は達成していますが、定年延長や再任用制度の普及など社会的要因もあり、会員数は微増に留まっています。	
作成担当課長	高齢介護課長 宮脇 理恵

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
定年延長や再任用制度の普及など社会的要因もあり、会員数は微増に留まっていますが、目標は達成できませんでした。 高齢者の現役時代のキャリアを活用できる業務や生きがいを感じる業務など、新しい雇用の創出に努めます。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	高齢者いきいき活動ポイント事業	事業番号	141105
担当部署名	福祉保健部	高齢介護課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	4:高齢者が生きがいを持って暮らせるまちづくり		
単位施策	1:高齢者福祉の充実		

2. 事業概要

高齢者の社会参加や要介護・要支援状態の予防を目的に、地域のボランティア活動や介護予防活動への参加者に対しポイントを付与する事業を開始します。ポイントは付与数に応じ奨励金として支給することを予定しています。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 65歳以上の高齢者の自らの健康づくり、介護予防に取り組む活動、地域の支え手となる活動（ボランティア活動）等の活動実績に基づき、ポイントを付与します。また、1年間貯めたポイント数に応じて、活動の翌年度に奨励金を支給することを予定しています。</p>	<p>○ 高齢者の社会参加の促進と生きがいづくりの推進を目的として、高齢者による地域のボランティア活動や介護予防・健康増進に資する活動の実績に基づきポイントを付与し、奨励金を支給する高齢者いきいき活動ポイント事業を創設し、令和2年9月から開始しました。また併せて、広島市とのポイント相互付与の仕組みを構築しました。</p> <p>ポイント手帳交付数 12,743名 活動団体登録数 537団体（令和2年度末）</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	ポイント制度の創設	-	目標値	-	-	-	-	創設
			実績値	-	-	-	-	創設
			達成状況	-	-	-	-	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		ポイント制度による高齢者の社会参加が目的のため、制度の創設を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,896	1,224	612	0	1,322	1,738
決算	4,924	1,231	616	0	1,330	1,747

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
広島市とのポイント相互付与の仕組みを構築し、令和2年9月から事業を開始しました。ポイント付与を担う活動団体に対しては、新型コロナウイルス感染症の影響により説明会の開催ができませんでしたが、令和2年度末現在で537団体と、当初目標（446団体）を上回る登録数となっています。	
作成担当課長	高齢介護課長 宮脇 理恵

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
広島市とポイント相互付与の仕組みを構築し、年度内（令和2年9月）に事業の開始ができ、目標は達成できました。 コロナ禍での事業開始となりましたが、令和2年度末現在で537団体と、当初目標（446団体）を上回る登録数となっています。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	国民健康保険健康保持増進普及事業	事業番号	151101
担当部署名	福祉保健部	保険年金課、健康推進課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	5:社会保障制度の堅持		
単位施策	1:保険制度の安定した運営		

2. 事業概要

国民健康保険被保険者の健康保持のため人間ドック健康診査を行います。また、医療費の適正化を図るため、頻回・重複受診者への指導を実施するとともに、ジェネリック医薬品の利用啓発を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の加入者に対し、人間ドック受診時の自己負担額の一部を助成します。（630人、年2回（春秋）実施） ○ レセプトデータから頻回・重複受診をしている人を抽出し、該当者に対し電話・訪問による健康相談を通して適正な受診を促します。 ○ レセプトデータからジェネリック医薬品の利用により医療費削減効果の高い人を抽出し、差額通知書を毎月送付することで、ジェネリック医薬品の利用を啓発します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国民健康保険の加入者に対し、人間ドック受診時の自己負担額の一部を助成しました。（292人、年2回受付） ○ レセプトデータから頻回・重複受診をしている人を抽出し、該当者に対し電話・訪問による健康相談を通して適正な受診を促しました。 ○ レセプトデータから、ジェネリック医薬品の利用により医療費削減効果の高い人を抽出し、差額通知書を毎月送付することで、ジェネリック医薬品の利用を啓発しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	人間ドック受診者数	人	目標値	650	650	650	650	650
			実績値	636	554	507	528	292
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		生活習慣病の予防及び重症化抑制のため、人間ドック受診者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	21,330	0	21,330	0	0	0
決算	6,825	0	6,825	0	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
人間ドックの受診者の実績値は前年度と比較し大きく下回り目標値に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により人間ドックを中止する病院や受診を控えた方が多く減少につながったものです。	
作成担当課長	健康推進課長 塩月 久美子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
人間ドックの受診者の実績値は前年度と比較し大きく下回り、目標値に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症の影響により、人間ドックを中止する病院や受診を控えた方が多く減少につながったものです。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	基盤整備事業	事業番号	151102
担当部署名	福祉保健部	高齢介護課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	5:社会保障制度の堅持		
単位施策	1:保険制度の安定した運営		

2. 事業概要

「第7期介護保険事業計画」に基づき、小規模多機能型居宅介護施設（1か所）を公募により選定のうえ、整備を進めます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 介護サービス事業所（小規模多機能型居宅介護）の公募及び整備を行います。（1か所）	○ 地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護 1か所）の公募を行い、事業者を選定しました。令和3年4月1日開所予定でしたが、追加の杭工事が必要になったことによる設計変更等により、工事完了に遅延が生じました。令和3年10月事業開始に向け、施設等を整備中です。 令和2年度工事進捗率 7.2%

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	小規模特別養護老人ホーム整備（累計）	箇所	目標値	3	4	4	4	4
			実績値	3	3	3	-	-
			達成状況	達成	未達成	未達成	-	-
②	小規模多機能型居宅介護整備（累計）	箇所	目標値	2	3	3	3	4
			実績値	1	2	2	-	2
			達成状況	未達成	未達成	未達成	-	未達成
③	定期巡回・随時対応型訪問介護看護整備（累計）	箇所	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	0	1	1	-	-
			達成状況	未達成	未達成	未達成	-	-
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		住み慣れた地域で安心して暮らせるよう施設整備数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	52,661	0	52,576	0	0	85
決算	15,410	0	15,359	0	0	51

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護）1か所の公募を行い、令和2年度中に施設整備を行う予定でしたが、内示の遅れや追加工事の必要性が生じるなど、工事の進捗が遅れ、年度内に事業を完了することができませんでした。令和3年10月事業開始に向けて施設整備中です。	
作成担当課長	高齢介護課長 宮脇 理恵

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度中に予定していた地域密着型サービス事業所（小規模多機能型居宅介護）の整備について、内示の遅れ及び追加工事の発生などにより、工事の進捗が遅れ、目標を達成できませんでした。現在は、令和3年10月事業開始に向けて施設整備中です。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	子ども医療費助成事業	事業番号	152101
担当部署名	福祉保健部	子育て支援課、保険年金課	
政策体系			
基本目標	1:みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり		
基本施策	5:社会保障制度の堅持		
単位施策	2:福祉医療の充実		

2. 事業概要

子どもが医療機関等で保険診療を受ける際、小学生までは入通院、中学生は入院を対象として、保護者に対して、医療費の自己負担分の一部又は全部を助成します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 子どもが保険診療を受ける際、医療費の一部または全部を補助します。（保護者の所得が所得制限額未満の方が対象） 対象医療費：0歳から小学生までは通院及び入院 中学生は入院</p>	<p>○ 小学生就学前は医療費の2割、小学生・中学生は医療費の3割を保護者等が自己負担することに対して、その一部または全部を助成しました。 未就学児受給者数 3,264人 小学生受給者数 2,454人 中学生受給者数 6人</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	助成制度を利用できる子どもの推定数	人	目標値	3,280	5,547	5,588	5,629	5,670
			実績値	3,309	5,569	5,769	5,729	5,724
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		経済的負担の軽減及び重症化を防ぐため、助成制度を利用できる子どもの推定数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	144,555	0	38,931	0	0	105,624
決算	112,092	958	25,692	0	0	85,442

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
実施事業の周知ができており、目標を達成しました。	
作成担当課長	保険年金課長 藤永 美香

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
実施事業の周知ができており、目標を達成しました。	
作成担当部長	福祉保健部長 山西 仁子

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	小中連携教育充実事業	事業番号	211101
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	1:社会を生き抜く力の育成		

2. 事業概要

児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、小・中学校の教職員が、義務教育9年間の発達の段階に応じた系統性を踏まえた教育課程を理解し、授業改善を図るための研修を進めます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、小・中学校の教職員が、義務教育9年間における児童・生徒の発達段階に応じた系統性を踏まえた教育課程を理解し、授業改善を図るための研究を推進します。</p>	<p>○ 児童・生徒の「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するため、各校において小・中学校の教職員が、義務教育9年間における児童・生徒の発達の段階に応じた教育課程を理解し、授業改善を行いました。</p> <p>○ 毎月、各中学校区の生徒指導主事及び関係機関担当による生徒指導担当者会議を行い、小・中学校のスムーズな接続のために児童・生徒に関する綿密な情報連携、生徒指導の取組みの確認を行いました。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	主体的に学ぶ児童の割合 (小学校)	%	目標値	80.1	80.3	80.5	80.7	81.0
			実績値	80.1	82.4	82.2	79.9	83.1
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	達成
②	主体的に学ぶ生徒の割合 (中学校)	%	目標値	65.9	66.2	66.5	66.8	67.0
			実績値	67.6	68.4	74.1	75.0	79.9
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		小中学校教職員が共同で実施する研究活動成果を生かし主体的な学びを促進するため、主体的に学ぶ児童・生徒の割合を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	502	0	0	0	0	502
決算	216	0	0	0	0	216

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
コロナ禍のため各校において、義務教育9年間に於ける児童・生徒の発達の段階に応じた系統性を踏まえた教育課程を理解し、授業改善を進めました。 小・中学校のスムーズな接続のために、各学校の生徒指導主事及び関係機関担当が毎月生徒指導担当者会議を行い、児童・生徒に関する綿密な情報連携、生徒指導の取組みの確認を行いました。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休業もありましたが、継続的な授業改善により小・中学校とも目標達成できました。今後も、義務教育9年間の系統的な教育課程の実施のためには教職員等の研修を実施していく必要があります。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	体験活動推進事業	事業番号	211102
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1 あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	1 社会を生き抜く力の育成		

2. 事業概要

小学校5年生を対象に、宿泊体験活動を引き続き行い、児童の豊かな心の育成や、課題発見・解決学習能力の育成に取り組みます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 豊かな人間性や社会性をはぐくみ、自己有用感を高め、志を持ち、社会で生き抜く児童を育成するため、宿泊体験学習を実施します。	○ 新型コロナウイルス感染症対策のため、泊を伴わない形で実施しました。町内小学校5校の第5学年を対象に校外において「新しい生活様式」の中でできることを各校で工夫し、体験活動を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	自分にはよいところがあると思える児童の割合	%	目標値	81.0以上	81.0以上	81.0以上	81.0以上	81.0以上
			実績値	78.4	81.2	92.1	87.2	85.0
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		体験活動を通して豊かな心の育成や課題発見・解決学習能力の育成の成果として「自分にはよいところがある」と思える児童の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	873	0	0	0	0	873
決算	471	0	0	0	0	471

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
コロナ禍において、泊を伴う体験活動はできませんでしたが、各校が内容を工夫して体験活動を実施しました。「自分にはよいところがある」と思える児童の割合は、目標値の達成を継続しています。今後も「新しい生活様式」の中で、体験活動を工夫して実施し、豊かな心の育成や課題発見・解決学習能力の育成を図っていきます。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
前年度より実績値は下がっていますが、今後も体験活動を通して豊かな心の育成や課題発見・解決学習能力の育成を図る必要があります。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	学校図書館教育充実事業	事業番号	211103
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	1:社会を生き抜く力の育成		

2. 事業概要

学校図書司書の配置、図書購入による蔵書の整備等を行い、小・中学校図書館教育の充実に努めます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな感性や情操を育む読書センターの機能、自ら学ぶ学習情報センターの機能を充実させることにより、児童・生徒の望ましい読書習慣の形成を図るとともに、主体的な学習を推進します。 ○ 学校司書を配置し、学校図書館の機能を充実を図ります。 ○ 図書システムを引き続き運用し、図書の活用を促進します。 ○ 府中町ポップコンテストを実施し、優秀作品の選定とともに本の紹介を行い、児童・生徒の読書への関心を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな感性や情操を育む読書センターの機能、児童・生徒が自ら学ぶ学習・情報センターの機能を充実させるため、学校図書司書を小学校1名、中学校1名配置し、学校図書館の機能を充実を図りました。 ○ 図書館システムを引き続き運用し、図書の活用を推進しました。 ○ 府中町ポップコンテストを実施し、小学校ではおすすめ本の紹介カードの作成、中学校ではポップの作成を行い、優秀作品を表彰するとともに、作品を各学校や府中町立図書館で巡回展示しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	1か月に3冊以上本を読む児童の割合(小学校)	%	目標値	72.3	72.5	72.7	72.9	73.0
			実績値	72.0	65.7	67.2	67.7	85.1
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	達成
②	1か月に3冊以上本を読む生徒の割合(中学校)	%	目標値	31.0	32.0	33.0	34.0	35.0
			実績値	38.6	39.5	32.4	37.4	41.3
			達成状況	達成	達成	未達成	達成	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		図書館資料を利用することにより健全な教養を育成することが目的のため、1か月に3冊以上本を読む児童・生徒の割合を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	10,042	0	10	0	0	10,032
決算	9,730	46	10	0	0	9,674

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
小・中学校ともに事業目標を達成しました。府中町ポップコンテストを実施するなど、新たな取り組みをすることで、児童・生徒の読書への関心が高まりました。今後も、学校、学校図書司書、町立図書館が連携した読書活動の推進に取り組んでいきます。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
小・中学校ともに大きく上昇しています。新たな取り組みにより読書への意識が高まったとともに、読書活動を取り入れた授業改善に取り組んでいる結果と考えます。今後も、ICTを活用した読書活動の推進に取り組む予定です。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	志を育てる教育事業	事業番号	212101
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	2:志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成		

2. 事業概要

夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てる教育の推進を図るため、小学校では「ドリームナビ（夢への道しるべ）」を作成するとともに、中学校では「『志』を育てる教育講演会」を開催します。また、中学校では職場体験を実施します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の夢や仕事について考え、また、社会の第一線で活躍する大人の姿を見ること等により、夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てるため、「ドリームナビゲーション（夢への道しるべ）」の作成を実施します。（小学校第6学年対象） ○ 社会の一員としての自覚を促すとともに、望ましい職業観、勤労観を育成するため、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験活動」を実施します。（中学校第2学年対象） ○ 中学校の生徒会執行部及び小学校の児童会執行部が、町づくりや社会に貢献する活動について協議する「児童生徒会議」を実施します。 ○ 志を持って生きていく生徒を育成するため、府中町にゆかりのある講師を招聘し、「志」を育てる教育講演会を実施します。（中学校第2学年対象） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校第6学年の児童が、自分の夢や目標、周囲の人への思いをまとめた「ドリームナビゲーション」の作成を行いました。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響で、1か月以上学校が臨時休業となりました。3密を避けるため、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験活動」「児童生徒会議」小中リーダー研修会、職場体験学習、「志を育てる教育講演会」は中止しました。その一方で、インターネットを利用した調べ学習を行うなど「新しい生活様式」を取り入れた学習活動の中で、夢の実現に向かい挑戦する気持ちを育てる教育を進めました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	人に役に立つ人間になりたいと思う生徒の割合	%	目標値	95.0以上	95.0以上	95.0以上	95.0以上	95.0以上
			実績値	94.1	94.0	95.5	98.0	93.9
			達成状況	未達成	未達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		社会に貢献しようとする高い志を持ち挑戦する力を育成することが目的のため、「人に役に立つ人間になりたい」と思う生徒の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	181	0	0	0	0	181
決算	12	0	0	0	0	12

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染予防のため、「キャリア・スタート・ウィーク職場体験活動」「児童生徒会議」「小中リーダー研修会」「志を育てる教育講演会」は中止となり目標未達成となりました。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標未達成となったのは新型コロナウイルス感染症の影響により、職場体験などの事業が実施できなかったことが要因と考えます。今後は、ICTを活用した職場体験や会議運営などについても検討してきます。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	グローバル教育事業	事業番号	212102
担当部署名	教育委員会	学校教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	2:志を持ち未来へ挑戦する児童生徒の育成		

2. 事業概要

外国語によるコミュニケーション能力の向上・定着を図り、グローバル社会に挑戦する児童・生徒の育成を図るため、外国語指導助手（ALT）の派遣や非常勤講師の配置を行います。また、中学校では全学年の英語検定の費用を助成します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導の充実を図るため、外国人講師（ALT）を派遣します。（年間195日×2人予定） ○ 小学校高学年における外国語の教科化に伴い、小学校の英語教育の充実を図るため、英語の指導力を備えた非常勤講師の配置を行います。 ○ 義務教育卒業時に英語検定3級以上を取得することをめざし、1年生から受験にかかる経費を年間1回助成します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 外国語指導の充実を図るため、外国人講師（ALT）を全校に派遣しました。 ○ 外国語非常勤講師の派遣を小学校に行いました。また、毎日英語に親しむ時間として「ふちゅうEタイム」を小学校で設定しました。外国語活動、外国語の指導力を向上するため、外国語教育推進担当者会を行いました。 ○ 中学校卒業時まで英語検定3級以上の取得を目指し、中学校第1学年で5級以上、第2学年で4級以上、第3学年で3級以上の検定料を年間1回助成しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	中学校3年生の英語検定3級以上取得率	%	目標値	16.0	20.0	30.0	40.0	50.0
			実績値	16.7	27.7	41.1	43.2	34.7
			達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		外国語によるコミュニケーション能力の向上定着度を図ることが目的のため、英検3級以上取得率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	14,879	0	0	0	1,192	13,687
決算	14,347	0	0	0	1,192	13,155

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染予防で臨時休業となったため、第1回目の受検が中止となり目標未達成となりました。受検率向上のために、1年生は5級、2年生は4級と昨年度よりも受検しやすい環境を作ることで成功体験を味わわせながら次の段階に挑戦できる条件を整えました。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標未達成となった要因は、課長評価のとおりです。 令和2年度から小学校では外国語が教科化されました。今後も、小中学校連携を図りながら、これまで以上に小学校から中学校3年生の目指す姿を意識した取組みにしていくとともに、これまで以上に英検取得目標を意識させるようにします。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	コミュニティ・スクール推進事業	事業番号	213101
担当部署名	教育委員会	学校教育課・社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	1:あいさつ・感謝・志を柱とした学校教育の推進		
単位施策	3:学校・家庭・地域が協働した児童生徒の教育の推進		

2. 事業概要

児童・生徒を中心に据えた学校と地域の連携組織として全小・中学校に導入したコミュニティ・スクールについて、学校を核とした地域コミュニティへつながるよう、引き続き運営を行います。また、コミュニティ・スクールの一環として、地域と学校が連携・協働し、学校支援活動を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校を核とした地域コミュニティづくりにつながるよう、全小・中学校において、引き続き地域と学校が連携・協働した学校運営を行います。 ○ 学校と保護者、地域住民が子どもたちの課題や学校の目標を共有し、一体となって地域の子どもの豊かな育ちを支援することで、学校が地域の大人の学びの場、生きがいの場となるとともに、将来の地域を支える担い手を育てることにつなげます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内7校において、学校運営協議会を設置し地域と学校が連携・協働した学校運営を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	学校の教育を信頼（満足）していると答える保護者の割合	%	目標値	88.0	88.0	89.0	89.0	90.0
			実績値	90.2	91.1	93.1	92.5	93.5
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		地域の力を学校教育に生かすことを目的としているため、学校の教育を信頼（満足）していると答える保護者の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,088	0	463	0	0	625
決算	279	0	0	0	0	279

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
町内すべての学校の教育が信頼され、児童・生徒が安心して通える学校、保護者・地域が安心して通わせることのできる学校づくりを推進しました。	
作成担当課長	学校教育課長 立花 淑子

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成30年度に町内小・中学校全校にコミュニティスクールを配置し、継続した学校・地域・保護者の連携が少しずつ充実できていると思います。引き続き、地域とともにある学校づくりに努めます。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	公民館活動事業	事業番号	221101
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	1:生涯各期に応じた学習機会の提供		

2. 事業概要

個人や地域の課題に応じた学習機会の提供や、地域との連携・協力を推進します。また、ボランティア活動の支援等を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施します。 <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（125回2,630人） 青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（140回3,400人） 成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（100回2,700人） 高齢者を対象にした、学習会生きがいがづくり、地域社会への参画の機会の提供（240回3,450人） 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図ります。 <ul style="list-style-type: none"> 定期活動グループや地域団体等との協力連携事業の企画実施（17回8,020人） 多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（201回980人） 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図ります。（120回3,000人） 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の拠点として、府中公民館・府中南公民館において、各種主催事業を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期の子どもを持つ保護者を対象にした、家庭教育の支援（91回1,710人） 青少年（主に小学生）を対象にした、様々な体験・学習会の実施（96回1,689人） 成人を対象にした、現代社会の課題に対応した講座の実施（112回1,881人） 高齢者を対象にした、学習会生きがいがづくり、地域社会への参画の機会の提供（167回2,411人） 各種団体の学びの活動を支援し、地域との交流を図りました。 <ul style="list-style-type: none"> 定期活動グループや地域団体等との協力連携・事業の企画実施（8回462人） 多様なボランティアグループの活動を支援するため、ボランティア活動に関する情報及び学習機会の提供（345回869人） 定期活動グループによる学習成果の還元をすすめ、地域との交流を図りました。（3回31人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	利用者数(府中公民館)	人	目標値	19,400	19,500	19,600	19,700	19,800
			実績値	20,944	12,434	18,086	9,910	4,619
			達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②	利用者数(府中南公民館)	人	目標値	17,050	17,100	17,150	17,200	17,200
			実績値	22,664	16,750	14,059	8,760	4,483
			達成状況	達成	未達成	未達成	未達成	未達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		生涯学習各期に応じた学習・交流機会の提供が目的のため、利用者数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,269	0	0	0	0	2,269
決算	1,720	0	0	0	0	1,720

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、両公民館において公民館の利用停止などがあり、当初予定した事業・活動が出来なかったことから利用者数が減少したため、目標が未達成となりました。今後も、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業が実施できるよう、実施方法の工夫など検討していく必要があります。	
作成担当課長	社会教育課長 山本 進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、両公民館において公民館の利用停止などがあり、当初予定した事業・活動が出来なかったことから利用者数が減少したため、目標が未達成となりました。今後も、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら事業が実施できるよう、実施方法の工夫など検討していく必要があります。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	図書館活動事業	事業番号	221102
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	1:生涯各期に応じた学習機会の提供		

2. 事業概要

住民の学習・読書意欲に応えられるよう利用度の高い資料の充実を図るとともに、子育てを応援する図書館として、子どもの読書活動を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,500冊購入します。 ○ 図書館への来館を促し、読書への関心を育むため、一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催します。 <ul style="list-style-type: none"> ・本の探し方や利用の仕方等を体験する「図書館活用講座」（2回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ○ 読み聞かせ・本の修理等のボランティア養成講座を開催し、ボランティアを養成します。 ○ 学校図書との連携を行い、小・中学校への団体貸出の充実を図ります。 ○ SNS等を通じ図書館活動の周知を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者のニーズに応えるため、図書資料を3,622冊購入しました。 ○ 新型コロナウイルス感染防止対応のため、可能な範囲で、図書館への来館を促し読書への関心を育むための一般、児童、乳幼児向けに各種イベントを企画、開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館ホームページ活用講座（1回） ・本のリサイクル市やボランティアによるおはなし会を行う「図書館まつり」 ・保護者と2歳までの子どもを対象とした「おはなし会」（毎週金曜日） ・読書会（2回） ○ 新型コロナウイルス感染防止対応のためボランティア養成講座は中止しました。 ○ 学校図書司書との連携を行い、小・中学校で作成した読書推進活動の資料の展示や、団体貸出を85件行いました。 ○ SNS等を通じ、図書館の取組みや小中学校での読書推進活動の様子を発信しました。 ○ コロナ禍であっても読書を楽しんでもらうため、図書の貸出冊数を5冊から10冊に増やしました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	図書館入館者数	人	目標値	261,000	262,000	263,000	264,000	265,000
			実績値	256,873	242,627	221,840	209,582	136,822
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		情報発信拠点としての図書館運営の充実を目的としているため、図書館入館者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	14,686	0	0	0	1,227	13,459
決算	14,904	0	0	0	963	13,941

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休館及び図書館サービスや主催事業を一部休止することが増え、来館者が減少しました。感染症防止対策と利用促進を強化するため、貸出図書を5冊から10冊に増やしました。また、感染防止対策を講じて、おはなし会や講演会等を積極的に行いました。図書館からの積極的な情報発信や、電子書籍の導入について検討が必要です。	
作成担当課長	社会教育課長 山本 進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、目標は未達成となりました。 今後も感染症防止対策を講じつつ、図書館運営を行います。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	文化財保護事業	事業番号	222101
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	2:学び合い生きがいを育む社会教育の充実		
単位施策	2:芸術・文化の普及・振興		

2. 事業概要

町内の文化財の発掘調査や保存を行うとともに、歴史・文化に関する体験、学習の機会を提供し、町の歴史・文化の普及、啓発を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財を紹介する講座を実施するなど文化財保護事業を行います。 ○ 「広報ふちゅう」における府中町文化財保護審議会委員による文化財紹介コラムの再開へ向け、準備を進めます。 ○ 下岡田遺跡の史跡指定を目指し、文化庁に対し意見具申の準備を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財を紹介する講座として、令和元年度までの「ふるさと再発見講座（全5回）」を変更し、2つの講座（「下岡田遺跡講座」と「歴史探求講座（全3回）」）を実施しました。（参加者計123人） ○ 「広報ふちゅう」における文化財保護審議会委員による文化財紹介コラムを、当該委員の協力により、令和3年1月から再開することができました。 ○ 下岡田遺跡の史跡指定を目指し、文化庁に対し意見具申した結果、令和3年3月26日、下岡田官衙遺跡が国の史跡指定を受け、その旨が官報に告示されました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	ふるさと再発見講座参加者数	人	目標値	91	96	101	106	111
			実績値	99	117	125	88	123
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町の歴史文化の普及振興を図ることが目的のため、ふるさと再発見講座参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,836	0	0	0	232	1,604
決算	364	0	0	0	232	132

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、文化財を紹介する講座を開催しました。下岡田官衙遺跡について、国の史跡指定に向け機運が醸成されたことで、講座の参加者増につながりました。今後も講座内容の質の向上及び広報活動を工夫し、文化財の普及振興を図ります。	
作成担当課長	社会教育課長 山本 進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和3年3月に下岡田官衙遺跡が国史跡指定となったことにより、これを契機に歴史文化の普及啓発を推進します。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	小・中学校施設改修等事業	事業番号	231103
担当部署名	教育委員会	総務課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	3:安心・安全で質の高い教育環境の整備		
単位施策	1:教育施設・設備の充実		

2. 事業概要

府中東小学校・府中北小学校の普通教室棟・体育館の便所洋式化工事を行います。また、併せて府中北小学校の公共下水道接続工事を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 府中東小学校・府中北小学校の普通教室棟・体育館の便所洋式化工事を行います。また、府中北小学校については浄化槽を廃止し、公共下水道へ接続します。	○ 府中東小学校・府中北小学校のトイレ改修工事（洋式化）を完了しました。また、府中北小学校については浄化槽を廃止し、公共下水道へ接続しました。 ○ 今後の児童数増加が見込まれるため、補正予算により府中央小学校の教室増設を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	空調設備設置事業進捗率（事業費ベース、小学校）	%	目標値	-	9.0	100	-	-
			実績値	-	100.0	-	-	-
			達成状況	-	達成	-	-	-
②	空調設備設置事業進捗率（事業費ベース、中学校）	%	目標値	18.6	100	-	-	-
			実績値	17.0	100	-	-	-
			達成状況	未達成	達成	-	-	-
③	トイレ改修事業進捗率（事業費ベース、小学校）	%	目標値	-	-	-	37.9	100
			実績値	-	-	-	37.9	100
			達成状況	-	-	-	達成	達成
④	クラブハウス建替事業進捗率（事業費ベース、中学校）	%	目標値	-	-	-	100	-
			実績値	-	-	-	100	-
			達成状況	-	-	-	達成	-
指標の設定方法		施設改修が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	250,480	0	0	247,000	0	3,480
決算	262,623	0	0	251,814	0	10,809

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度の事業目標は達成しました。 今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めるため、現存する課題や環境変化等により生じる新たな課題を整理し、教育環境の整備を進めていきます。	
作成担当課長	教育委員会総務課長 岩崎 雅男

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度の事業目標は達成しました。 今後も安心・安全で質の高い教育環境の整備を進めるため、現存する課題や環境変化等により生じる新たな課題を整理し、教育環境の整備を進めていきます。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	社会体育施設改修等事業	事業番号	231104
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	3 安心・安全で質の高い教育環境の整備		
単位施策	1 教育施設・設備の充実		

2. 事業概要

揚倉山健康運動公園上段多目的広場を天然芝から人工芝に改修するとともに、夜間照明を修繕し、利用促進を図ります。また、オープニング・イベントとしてスポーツ教室を実施します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ振興くじや日本サッカー協会の助成金を活用し、上段多目的広場の人工芝新設工事を行います。 ○ 平成25年から使用停止している夜間照明の点灯状況を検査し、再使用できるよう修繕します。 ○ 竣工に併せ、オープニングイベントを開催します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 揚倉山健康運動公園上段多目的広場の人工芝新設工事を実施し、令和3年3月1日から利用を開始しました。また、夜間照明の点灯により、夜間の利用を再開しました。これにより、芝養生期間がなくなり、年間を通じた利用ができるようになり、稼働率が上がりました。 ○ 他の利用者への安全確保のため、周囲に防球フェンスを設置しました。 ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のためオープニングイベントは中止しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	揚倉山健康公園クラブハウス改修事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	100.0	-	-	-
			実績値	-	100.0	-	-	-
			達成状況	-	達成	-	-	-
②	揚倉山健康公園上段人工芝改修事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	-	-	100.0
			実績値	-	-	-	-	100.0
			達成状況	-	-	-	-	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設改修が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	100,567	0	0	28,800	58,706	13,061
決算	89,219	0	0	0	68,750	20,469

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
揚倉山健康公園上段人工芝改修工事を完了し、令和3年3月から供用を開始しました。	
作成担当課長	教育委員会事務局主幹 大神 規正

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
揚倉山健康公園上段人工芝改修工事を完了し、令和3年3月から供用を開始しました。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	府中公民館等改築事業	事業番号	231105
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2 学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	3 安心・安全で質の高い教育環境の整備		
単位施策	1 教育施設・設備の充実		

2. 事業概要

府中公民館・歴史民俗資料館・消防団第1分団詰所を兼ね備えた複合施設の令和4年4月開館へ向け、改築工事を進めます。また、歴史民俗資料館の展示製作業務に着手します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 令和4年4月の開館に向けて、躯体工事に着手します。今年度は既存杭の引き抜きを行い、鋼管杭工事、基礎工事を始めとして、1階躯体工事を完了させ、2階部分の躯体着工までを実施します。	○ 予定どおり既存杭の引き抜きを行い、鋼管杭工事、基礎工事及び1階躯体工事は完了しました。2階部分の整備工事に着手しています。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率（事業費ベース）	%	目標値	-	1.6	10.6	55.3	100
			実績値	0.8	0.9	10.6	17.2	17.5
			達成状況	達成	未達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設の整備が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	472,920	12,173	0	415,500	0	45,247
決算	1,595	0	0	0	0	1,595

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
府中公民館改築工事は予定どおり進捗しており、令和4年開館に向け事業を推進しました。また、歴史民俗資料館展示制作業務を開始しました。	
作成担当課長	社会教育課長 山本進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和4年4月の開館に向け概ね予定どおり建設工事を実施しました。また、歴史民俗資料館展示制作業務に着手しました。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	くすのきプラザ改修等事業	事業番号	231107
担当部署名	教育委員会	社会教育課	
政策体系			
基本目標	2:学び合い、志を育むまちづくり		
基本施策	3:安心・安全で質の高い教育環境の整備		
単位施策	1:教育施設・設備の充実		

2. 事業概要

火災等が発生した場合に適切な避難誘導等を行うため、耐用年数に至ったくすのきプラザの自動火災報知設備受信機を更新します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ くすのきプラザの自動火災報知設備受信機の更新工事を行います。	○ 自動火災報知設備受信機について、新たな機器を設置しました。（令和2年12月工事完了）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	自動火災報知設備受信機工事進捗率（事業費ベース）	%	目標値	-	-	-	-	100.0
			実績値	-	-	-	-	100.0
			達成状況	-	-	-	-	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設の整備が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,000	0	0	4,000	0	0
決算	2,915	0	0	2,915	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
くすのきプラザの自動火災報知設備受信機の更新工事を完了しました。	
作成担当課長	社会教育課長 山本 進一

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
くすのきプラザの自動火災報知設備受信機の更新工事を完了しました。	
作成担当部長	教育部長 榎並 隆浩

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	低炭素型社会づくり推進事業	事業番号	311101
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	1 低炭素型のまちづくりの推進		

2. 事業概要

「第3次地球温暖化対策実行計画」が終了するため、より実効性を高めるための見直しを行い、次期計画を策定します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 「第3次地球温暖化対策実行計画」の見直しを実施し、「第4次地球温暖化対策実行計画」を策定します。	○ 「第3次地球温暖化対策実行計画」の見直し及び「第4次地球温暖化対策実行計画」の策定について、業務着手は行ったものの、完了せず、令和3年度へ繰り越して実施することとなりました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	公共施設における二酸化炭素排出量	k g	目標値	3,255,018	3,161,263	3,067,508	2,973,753	2,880,000
			実績値	2,566,325	2,496,701	3,196,052	3,137,133	3,140,743
			達成状況	達成	達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		町が率先して地球温暖化対策を推進するため、公共施設における二酸化炭素排出量を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,950	0	0	0	0	4,950
決算	0	0	0	0	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
契約した電力供給事業者が、前事業者より二酸化炭素排出係数の高い事業者となり、二酸化炭素排出量が高い値になったため、目標値は未達成となりました。今後は新設した機器の、より効率的な使用や節電等の意識への周知・徹底を図ります。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
電気供給事業者がより二酸化炭素排出係数の高い事業者になっているため、目標は未達成となりました。町施設の維持保全計画において、施設改修時に節電機器更新等を検討する必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	府中の森づくり事業	事業番号	311102
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	1 低炭素型のまちづくりの推進		

2. 事業概要

災害復旧工事完了後の森林保全や間伐を見据え、森林環境譲与税及び広島県森づくり県民税を原資として、森づくり基金への積立を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 昨年度に引き続き、森づくり基金への積み立てを行います。 今年度は、来年度以降実施予定の「災害防止に着目した森林整備」の箇所選定を実施し、基金の有効活用を図るべく準備を進めます。</p>	<p>○ 森づくり基金への積み立てを行いました。 県林業課、県西部農林水産事務所、森林組合と協議し、「災害防止に着目した森林整備」の箇所の選定作業を実施しました。 実施エリアの選定は完了しました。 詳細な実施箇所の選定は来年度に最終調整します。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	間伐実施面積(累計)	h a	目標値	10.2	12.2	14.2	16.2	18.2
			実績値	16.1	17.8	17.8	17.8	17.8
			達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		森林の適切な管理・保全を行うことが目的のため、間伐実施面積を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	7,052	0	2,800	0	20	4,232
決算	7,033	0	2,800	0	1	4,232

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成30年7月豪雨災害及び令和2年7月豪雨災害の影響で間伐は実施できませんでした。水分峡森林公園の利用に関する問い合わせは多く、再開への町民の期待が高まっています。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成30年7月豪雨災害及び令和2年豪雨災害の影響で間伐が実施できていないため、未達成となりました。令和3年度に間伐調査により間伐箇所を選定を行い、令和4年度から間伐に再着手し、目標を達成するよう進めていきます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	公園改修等事業	事業番号	312101
担当部署名	建設部 都市整備課、維持管理課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	2 自然と共生する快適環境の推進		

2. 事業概要

令和元年度に実施の清水ヶ丘第1児童遊園中央階段封鎖工事について、年度中に完了しなかったため引き続き工事を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 平成30年7月豪雨災害により清水ヶ丘第1児童遊園の中央階段から流出した土砂が民家に直撃したため、町民の安心・安全の観点から、中央階段を取壊し、擁壁工及び防止柵工を行います。	○ 令和元年度からの繰越工事として、清水ヶ丘第1児童遊園の中央階段を取壊し、擁壁及び転落防止柵を設置しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	53.7	67.2	76.9	87.6	100
			実績値	53.7	64.8	76.9	87.6	100
			達成状況	達成	未達成	達成	達成	達成
②	公園遊具再整備計画の策定	%	目標値	-	100	-	-	-
			実績値	-	100	-	-	-
			達成状況	-	達成	-	-	-
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①公園遊具等の改修が目的のため、事業進捗率を指標としました。②計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,000	0	0	0	0	5,000
決算	4,218	0	0	0	4,218	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成30年7月豪雨災害により被害のあった清水ヶ丘第1児童遊園は、令和元年度に復旧工事に着手しましたが、近接工事の影響により、令和2年度に一部を繰り越し、工事完了しました。引き続き、利用者が安心・安全に利用できるよう公園の維持管理を行います。	
作成担当課長	維持管理課長 谷口 洋二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和元年度からの繰越工事として清水ヶ丘第1児童遊園の復旧工事を令和2年度に完了しました。今後も公園利用者が安心・安全に利用できるよう公園施設の改修等を実施していきます。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	身近な環境保全事業	事業番号	312102
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	2 自然と共生する快適環境の推進		

2. 事業概要

キッズ環境調査や、委託による環境調査を継続して行い、身近な自然環境の維持に努めます。また、調査結果等はホームページや「広報ふちゅう」に掲載し、住民に公表します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査プロジェクトを継続実施します。 ○ 環境調査を継続実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キッズ環境調査プロジェクトを継続実施しました。 ○ 環境調査を継続実施しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	環境基準値の達成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	88	88	88	88	88
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		緑・自然・生活環境の維持保全を図るため、環境基準値の達成率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,597	0	116	0	0	4,481
決算	4,205	0	116	0	0	4,089

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
道路騒音が環境基準値を超えているため目標は未達成ですが、県に改善要望できる限度値は下回っています。また、計測地点に民家がなく、苦情や改善要望がないため監視を継続します。また、その他の大気、水質、ダイオキシンは環境基準を満たしています。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
環境基準値を超えている幹線道路騒音以外は、指標が環境基準値内で良好な環境が保たれているため、監視を行い事業は継続します。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	林業施設改良等事業	事業番号	312103
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1:総合的な環境対策の推進		
単位施策	2:自然と共生する快適環境の推進		

2. 事業概要

長尾林道の路面改良を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 長尾林道の路面が老朽化により傷んでいるため整備し、林道としての機能を維持・改善します。	○ 長尾林道において災害復旧事業による工事を実施したことにより、所期の目標が達成できたため、同事業を実施する必要がなくなりました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間内事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	-	-	50.0	100
			実績値	-	-	-	-	-
			達成状況	-	-	-	-	-
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		林業関連施設の計画的な整備を行うための計画を策定しR1から実施するため進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,000	0	0	4,500	0	500
決算	0	0	0	0	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
長尾林道において災害復旧事業による工事を実施したことにより、所期の目標が達成できたため、同事業を実施する必要がなくなりました。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
長尾林道において災害復旧事業による工事の実施により、当事業の路面改良について事業目標を達成しています。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	廃棄物の適正処理推進事業	事業番号	313101
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1:総合的な環境対策の推進		
単位施策	3:資源循環による環境負荷の低減		

2. 事業概要

「ごみ処理基本計画」に関し、より実効性を高めるため中間見直しを行います。また、「災害廃棄物処理計画」に基づき、広島県や関係団体と調整を図るとともに、より実効性を高めるため「災害廃棄物処理に係る初動マニュアル」を策定します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごみ処理基本計画」の中間見直しを実施します。 ○ 「災害廃棄物処理に係る初動マニュアル」を作成します。 ○ 食品ロス削減のため、周知を図ります。 ・10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、広報やつばき祭における周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ごみ処理基本計画」の中間見直しを翌年度に繰り越し、「災害廃棄物処理に係る初動マニュアル」とともに令和3年度に作成することになりました。 ○ 食品ロス削減のため、10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、広報で周知しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業系一般ごみの排出量	t	目標値	4,176	4,050	4,349	4,169	3,975
			実績値	4,342	4,541	5,430	4,598	4,073
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②	家庭ごみ排出量	g/ 人・日	目標値	578.7	572.9	569.1	565.3	561.5
			実績値	567.2	567.7	547.1	563.1	565.7
			達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		ごみの減量化が目的のため、ごみの排出量を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	8,061	0	132	0	0	7,929
決算	197	0	131	0	0	66

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業系一般ごみの排出量は、令和元年度、令和2年度共に、新型コロナウイルス感染症の影響で大幅に減っているものの、目標値には達しませんでした。今後、経済活動が元に戻ると増加すると予想されるため、目標達成は難しい状況です。家庭ごみ排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響で逆に増加したものとされます。ただ、県内の状況は全体的に下げ止まり傾向にあり、新型コロナウイルス感染症の収束後の減少幅は小さくなっていくと予想されます。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業系一般ごみの排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響による事業活動の減少で大幅に減っているものの、目標値には達しませんでした。また、家庭ごみ排出量は、新型コロナウイルス感染症の影響により家庭での消費が増え目標未達成となったと思われます。引き続きごみの出し方の手引書、「ごみ分別アプリ」やパンフレット等様々な媒体で周知するとともに、不法投棄防止のためパトロールの実施等を行います。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	協働型環境づくり事業	事業番号	314101
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	1 総合的な環境対策の推進		
単位施策	4 協働型環境づくりの推進		

2. 事業概要

「第2次環境基本計画」に基づき、住民・事業者・行政が協働・連携し、環境活動やイベント・環境学習を実施します。また、当該計画に関し、より実効性を高めるため中間見直しを実施します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱温暖化市民協議会と連携し、環境学習講座や環境イベントなどの啓発活動を実施し、地球温暖化防止活動を拡げていきます。 ○ ぐらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行い、周知します。 ○ 「第2次環境基本計画」の中間見直しを実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱温暖化市民協議会と連携した環境学習講座や環境イベントなどの啓発活動は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により実施できませんでした。 ○ ぐらすば環境支援助成事業により団体の活動支援を行い、周知しました。 ○ 「第2次環境基本計画」の中間見直しは、翌年度に繰り越し令和3年度に作成することになりました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	環境関係コンテンツの閲覧数	件	目標値	6,600	6,700	8,000	9,000	10,000
			実績値	8,781	12,473	18,675	11,992	17,550
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		環境に関心を持つ人の増加と環境意識の醸成を図ることを目的としているため、町公式ホームページに掲載している環境関係コンテンツの閲覧数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	8,618	0	7	0	0	8,611
決算	801	0	0	0	0	801

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年7月豪雨災害を受けて、水分峡森林公園及び林道の利用時間等について関心が高まったため、閲覧数が急激に増加しました。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年7月豪雨を受けて、水分峡森林公園及び林道の利用について関心が高まったため、閲覧数が急激に増加したと考えられます。水分峡森林公園等の全面開放に向けて災害復旧を進めます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	人権推進事業	事業番号	321101
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

2. 事業概要

「ヒューマンフェスタ 2020 in 府中町」の開催、人権啓発冊子の発行、人権啓発紙芝居や人権の花運動等を実施し、人権啓発を推進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、人権講演会や各種啓発活動を展開します。（1回予定） ○ 保育園・幼稚園及び未就園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施します。（12回予定） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付します。 ○ 民生児童・児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施します。（年3回） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施します。（夏・秋予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の拡大予防により規模を縮小して、住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、各種啓発活動を行いました。11月29日（日）（参加者127人） ○ 保育園・幼稚園及び未就園児を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（9回796人実施 ※2園新型コロナウイルス感染症により中止） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生委員・児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回・100人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	38	38	38	38	40
			実績値	39	40	40	39	31
			達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		人権意識を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,407	0	661	0	0	3,746
決算	3,728	0	674	0	0	3,054

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により行事が変更等になったため、目標が未達成となっています。事業のマンネリ化が課題となっているため、課題を整理のうえ、改善していくことが必要と考えます。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、啓発活動行事が実施できず、目標は未達成です。事業の課題を整理するとともに、「新しい生活様式」を取り入れた啓発活動を実施していく必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	男女共同参画推進事業	事業番号	321102
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	1:人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

2. 事業概要

講演会の開催等により、男女共同参画推進の啓発を行います。また、男女共同参画推進懇話会において、「第3次男女共同参画プラン」に関する各種施策の点検及び評価を行うとともに、次期プラン作成に向けた検討を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催します。（1回予定） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施します。（2回予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民等を対象に府中南公民館との共催により、男女共同参画講演会を開催しました。10月10日（土）（参加者49人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。9月・2月（2回 216人）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	3	3	3
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		男女共同参画の意識啓発を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	247	0	60	0	0	187
決算	216	0	47	0	0	169

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、人数制限を設け事業を実施しました。人数制限という条件の中でも、これまで通りの参加者が確保できるような取り組みが必要と考えます。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染防止対策を行い事業を実施しました。参加者の人数制限により参加できない住民等に対し、啓発を行うことができる仕組みを考える必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域コミュニティ活動支援事業	事業番号	322101
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 事業概要

相互に協調連帯した地域と連携・協働し、明るく住みよいまちづくりを推進するため、町内会活動の支援を行うとともに、地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し支援を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町内会への加入啓発を行います。 ○ 町内会連合会への補助金を通じた活動支援を行います。 ○ 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ポータルサイト「こむねっとひろしま」で町内会情報（34町内会）の発信を行いました。 ○ 町内会連合会へ、補助金を通じた活動支援を行いました。 ○ 地域コミュニティ活動に供する町内会集会所の整備に対し、補助金を交付しました。（改築1件、修繕2件） ○ 全ての町内会長に対してアンケートを実施し、町内会の現状や課題を把握しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	町内会加入率	%	目標値	79.8	79.9	80.0	80.1	80.2
			実績値	76.5	74.5	72.7	73.3	71.0
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		地域活動の推進を目的としているため、町内会加入率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	27,748	0	0	0	0	27,748
決算	30,350	0	0	0	6,662	23,688

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
加入促進のため、活動実績のとおり取組みを行いましたが、目標を達成できませんでした。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
加入促進の取組みを実施しましたが、目標は未達成となりました。南北町内会連合会と連携し、取組みを行う必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	協働のまちづくり支援事業	事業番号	322102
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 事業概要

住民と連携・協働によるまちづくりを推進するため、府中つばき祭り実行委員会へ補助金を交付します。また、町と連携・協働する町民活動団体等が安心して社会奉仕活動ができるよう保険に加入し、町民活動を支援します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険をかけることで、団体の活動を支援し、協働を促進します。 ○ 府中つばき祭り実行委員会への補助金交付と事務局運営を通じ、住民団体と一緒に祭りを盛り上げます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町がボランティア活動団体を対象に保険に加入することで、団体の活動を支援し、協働を促進しました。 ○ 府中つばき祭りは新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止になりました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	活動団体登録数	団体	目標値	46	47	48	49	50
			実績値	45	49	50	49	51
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		住民相互の連携とコミュニティづくりを目的としているため、活動団体登録数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,262	0	0	0	2,962	300
決算	169	0	0	0	0	169

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
ボランティア活動団体の登録数の目標は達成していますが、登録団体数は横ばい状態です。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標は達成していますが、今後他部署と連携し、ボランティア活動を推進していく必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	コミュニティ施設改修事業	事業番号	322103
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 事業概要

総社会館と東地区センターの便所洋式化工事を行い、避難所としての施設環境の改善を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 総社会館と東地区センターの便所洋式化工事を行い、避難所としての施設環境の改善を図ります。 【対象箇所】 ・ 総社会館1,2階男女トイレ各1箇所（計4箇所） ・ 府中東地区センター1階男女トイレ各1箇所（計2箇所）</p>	<p>○ 総社会館と東地区センターの便所洋式化工事を行い、避難所としての施設環境の改善を図りました。 【対象箇所】 ・ 総社会館1,2階男女トイレ各1箇所（計4箇所） ・ 府中東地区センター1階男女トイレ各1箇所（計2箇所）</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率(事業費ベース)(鶴江地区センター)	%	目標値	-	-	-	100	-
			実績値	-	-	-	100	-
			達成状況	-	-	-	達成	-
②	事業進捗率(事業費ベース)(総社会館・東地区センター)	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	100
			達成状況	-	-	-	-	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		施設改修が目的のため進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,357	0	0	5,300	0	57
決算	4,191	0	0	4,191	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
避難所として施設環境の改善を図ることができました。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標どおり避難所としての施設環境の改善を図りました。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域創業支援事業	事業番号	322104
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2:安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	2:地域の活性化		

2. 事業概要

広告デザイン料やオフィス誘致促進のための助成、先輩起業者による相談により、創業希望者の支援を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 実施期間終期にあたる創業支援3事業の評価と検証を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広告デザイン作成費助成金 ・ 地域活力創出型オフィス誘致助成金 ・ 安芸府中メンターズ（先輩企業者相談制度） ○ 上記検証結果および国、県、他市町の動向を踏まえて令和3年度以降の事業実施について見直しを行います。 ○ 広島市、海田町と共同で認定を受けた創業支援等事業計画に基づき、広島市創業・ベンチャー支援連絡協議会で連携しながら創業支援施策を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・ 広告デザイン作成費助成金 申請2件、支給2件 ・ 地域活力創出型オフィス誘致助成金 令和2年度は実績なし。令和元年度までの2者について支援継続中。 ・ 安芸府中メンターズ相談件数 1件 ○ 町オフィス誘致助成の交付要綱は令和2年度末までであり、県オフィス誘致助成も令和3年度より改正されることを受け、要綱を見直しました。 また、同様に令和3年度において、他の2制度のうちメンターズは廃止し、広告デザイン助成は販路開拓支援として対象経費と予算規模の拡充を図る予定です。 ○ 広島市及び海田町と共同で創業支援にあたっているが、創業希望者の相談については、金融機関のみならず民間企業でも取り扱っており、圏域全体の相談件数は把握できるものの、町内分の相談件数は不明という状況です。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	創業希望者等の相談件数 (累計)	件	目標値	18	30	44	60	78
			実績値	43	87	150	179	不明
			達成状況	達成	達成	達成	達成	不明
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		創業者を増やすことで地域活性化と雇用確保につなげることを目的としているため、創業希望者等の相談件数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	1,900	0	0	0	0	1,900
決算	73	0	0	0	0	73

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
メンターズは、広島市産業振興センター等での専門指導員によるセミナーなど充実していることから廃止とする予定です。創業支援は、広島市等との共同広域連携により、創業希望者にとっては活動しやすい環境とする予定です。また、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、テレワークを実施する企業が増加したことからオフィス誘致助成は注目度が高くなることが考えられるため、時代の変化を踏まえ検討を続けていきます。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標は達成していますが、創業支援補助制度の利用者が少ないため制度の見直しの検討を行いました。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	観光事業	事業番号	322105
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	2 地域の活性化		

2. 事業概要

町の様々な観光資源の魅力発信を推進するため、レンタサイクルサービスを引き続き実施するとともに、観光冊子を作成します。また、「神武東遷」日本遺産認定については、再度申請中であり、継続して協議会への参加を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ レンタサイクルを運営します。電動自転車は導入後5年を経過するため、更新または継続使用を含め検討していくほか、広島市のレンタサイクル事業の町内エリア活用について調査研究していきます。 ○ 観光冊子を発行します。町内の店舗紹介や日本遺産認定申請中である多家神社についての情報を盛り込むなど内容の充実化を検討します。 ○ 日本遺産認定申請中である「神武東遷」関係について、構成市町である呉市とともに、観光資産を活用した活性化を図ることを検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 観光協会へ補助金を交付し、写真コンテスト等が実施されました。 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により観光冊子の作成は見送ったものの、観光マップは県内外に積極的に配布しており、追加配布の依頼を受けるなど好評を博しています。 ○ レンタサイクルはほぼ毎日利用されている状況です。 ○ 日本遺産認定申請は再度不認可となりましたが、継続協議することとなりました。文化庁で認定制度が見直され「候補地域」が創設されたことを受け、宮崎市が中心になって計画を見直すことになり、町の協議会でも取り上げ商工会、観光協会、社会教育課で協議しました。（3月24日文化庁に申請）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	観光協会主催事業参加者数	人	目標値	520	540	560	580	600
			実績値	460	1,469	800	300	42
			達成状況	未達成	達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		観光事業の推進の成果として、参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,114	0	0	0	611	3,503
決算	1,223	0	0	0	600	623

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止があったことから、目標達成に至りませんでした。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成30年7月豪雨災害の復旧工事により水分峡森林公園などの利用ができなかったことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したため、目標は未達成です。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	防災事業	事業番号	323101
担当部署名	総務企画部	危機管理課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	3 防災・地域安全活動の推進		

2. 事業概要

災害に備え、毛布や飲料水、食糧等の計画的な備蓄を引き続き行うとともに、自主防災組織の資機材等購入に係る活動費等の助成を拡充します。また、停電時に最低限の電力を確保できるよう、避難所となる3施設に電源切替装置を設置します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 災害時において食糧等物資の確保が困難な被災者へ供給するため、備蓄計画を策定し計画的な備蓄を行います。 ○ 停電時でも避難所を運営することができる最低限の電力を確保できるよう、自主避難所として運用する3施設（総社会館、福寿館、府中南交流センター）に、電源切替装置を設置します。 ○ 自主防災組織の育成及び活動支援を目的に、自主防災組織が実施する次の事業に補助金を交付します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練、防災啓発活動事業 ・ 防災資機材整備事業 ・ 防災資機材更新事業 ・ 防災士資格取得事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域防災計画に基づき、今後の備蓄における基本的な方針や備蓄品目及び備蓄数量等について定めた備蓄計画を策定しました。また、備蓄計画を基に生活必需品等の計画的な備蓄を実施し、本年度の目標値を大きく上回りました。 （年度末時点実績） <ul style="list-style-type: none"> ・ 食糧 13,650食 ・ 飲料水 12,816本 ・ 毛布 1,830枚 【生活必需品備蓄量（累計） 28,296個】 ○ 非常時の電力確保のため、総社会館、福寿館、マイフローラ南交流センターに電源切替装置を設置しました。 ○ 自主防災組織の育成及び活動支援のため、組織が実施する次の事業に補助金を交付しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練・防災啓発活動等事業 3団体 ・ 防災資機材整備事業 1団体 ・ 防災資機材更新事業 1団体 ・ 防災士資格取得事業 3団体

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	避難生活必需品備蓄量 （累計）	個	目標値	18,410	18,640	18,880	19,120	19,360
			実績値	15,451	18,252	21,105	19,988	28,296
			達成状況	未達成	未達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		大規模災害に備え、計画的な備蓄を行うため、避難生活必需品備蓄量を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	9,943	0	0	0	4,500	5,443
決算	13,498	0	0	2,937	5,639	4,922

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
備蓄計画に基づき、引き続き計画的な備蓄を行うとともに、食品ロスの削減に努めます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により避難所での感染症対策が求められる中で、環境の変化に合わせた備蓄の見直しを適宜検討・実施していきます。	
作成担当課長	危機管理課長 砂崎 勇介

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
備蓄計画上で目標とする備蓄量は、災害応援協定先から物資の提供を受けることを前提に定めています。円滑に物資を受け取るためには、協定締結先との連絡体制の確認や応援要請・受入手順の確認が不可欠です。今後は、訓練等を通して、協定先との連携強化を図ります。	
作成担当部長	総務企画部参事 屋敷 学

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	交通安全対策事業	事業番号	323105
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	3 防災・地域安全活動の推進		

2. 事業概要

住民の交通安全意識の高揚と交通徳の普及及び交通安全運動を推進するため、年2回の交通安全街頭キャンペーン、交通指導員の配置、交通安全推進隊への補助金交付を実施します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 春の全国交通安全運動及び広島県夏の交通安全運動期間中に、交通安全街頭キャンペーンを実施します。 ○ 各交通安全運動期間中（春・夏・秋・年末）に、通学路の交通指導を実施します。 ○ 町内5小学校で、4月に交通安全教室、6月に自転車教室を実施します。また、町内の保育園・幼稚園10ヶ所（9件）で、5月から6月にかけて交通安全教室を実施します。 ○ 府中町交通安全推進隊に補助金を交付します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交通安全街頭キャンペーンについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため全て中止になりました。 ○ 各交通安全運動期間中（春・夏は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止・秋15人・年末13人）に交通安全推進隊員が通学路の交通指導を実施しました。 ○ 幼稚園・保育園10ヶ所（9件）・新1年生に対する交通安全教室・自転車教室は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実技は行わず、DVDを貸し出し、また交通安全教育指針に準拠した冊子を配布することにより、横断歩道の正しいわたり方を学習しました。 ○ 小学校3、4年生を対象とした自転車教室では、DVDを貸与し、また、自転車のルールに関する冊子を配ることにより、自転車の正しい乗り方を学習しました。 ○ 府中町交通安全推進隊に補助金を交付しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動参加者数	人	目標値	255	266	277	288	300
			実績値	100	270	145	338	0
			達成状況	未達成	達成	未達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		交通安全意識の高揚を図ることが目的のため、啓発活動参加者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	2,917	0	0	0	0	2,917
決算	2,739	0	0	0	0	2,739

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、街頭での啓発活動が全くできなかったことから、目標達成に至りませんでした。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、啓発活動行事が実施できず、未達成です。事業の課題を整理するとともに、「新しい生活様式」を取り入れた啓発活動を実施していく必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	消費者行政推進事業	事業番号	323106
担当部署名	町民生活部	自治振興課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	3 防災・地域安全活動の推進		

2. 事業概要

消費者の安心と安全を確保するため、消費生活等に関わる相談、あっせんを行うほか、消費者被害未然防止のため、出前講座の実施や小・中学校への消費に関する冊子配布などの啓発活動を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費生活相談員1名を配置し、消費者生活上のトラブル、分からないことなどの相談を受け付けます。 ○ 被害の未然防止と消費生活に関する情報提供のため、希望する町内団体等への出前講座を実施します。 ○ 学校授業で取り上げる消費者生活問題に関し、教職員と協議し、学年に応じた適切な指導等が行えるよう方策を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 消費生活相談員を配置し、窓口・電話で相談を受け付けました。（延べ相談件数189件） ○ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、町内の団体への出前講座は中止としましたが、次のような消費生活に関する意識啓発活動を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・成人式で消費啓発パンフレットの配布（450人） ・町内の小学校5年生、中学校3年生の児童等へ消費啓発パンフレット配布（991人分） ○ 消費者生活問題に関して学年に応じた適切な指導を行うため、授業で取り上げる時期や教科書で出てくる表現などを教職員と協議し、動画や副教材の内容を検討しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	18	20	22	24	26
			実績値	22	30	30	5	8
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		被害未然防止、知識の普及が目的のため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	3,020	0	460	0	0	2,560
決算	2,816	0	460	0	0	2,356

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため出前講座は実施できませんでした。啓発用冊子の配布は、効果と活用を踏まえて、見直しを行い、対象を卒業生から小学校は5年生、中学校は3年生を対象としました。	
作成担当課長	自治振興課長 谷口 充寿

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、出前講座が実施できず、目標は未達成です。事業の課題を整理するとともに、「新しい生活様式」を取り入れた啓発活動を実施していく必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	農業用水路等改良事業	事業番号	323108
担当部署名	町民生活部	環境課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	2 安心安全・地域協働・産業活性化のまちづくり		
単位施策	3 防災・地域安全活動の推進		

2. 事業概要

決壊時に周辺地域の被害を及ぼす恐れのある永田池を埋め立て、廃止にします。また同様に、決壊時に周辺地域に被害を及ぼす恐れのある石ころび池・水分峡大堰堤の水位を常時監視するため、遠隔監視装置を設置します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 決壊時に周辺地域に被害を及ぼす恐れのある永田池を埋め立て、廃止します。 埋め立てに当たっては、敷地内に新幹線の高架があるためJRと協議し調整するほか、池を埋める土砂の受け入れについて、県西部建設事務所等とスケジュール調整を行います。</p> <p>○ 決壊時に周辺地域に被害を及ぼす恐れのある石ころび池・水分峡大堰堤の水位を常時監視するため、遠隔監視装置を設置します。</p>	<p>○ 永田池の廃止工事については、JRとの協議に時間を要したため、完了することができませんでした。</p> <p>○ 遠隔監視装置について、水分峡大堰堤には設置したものの、石ころび池には電波が受信できず設置できませんでした。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	永田池廃止工事進捗率	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	0
			達成状況	-	-	-	-	未達成
②	遠隔監視装置設置工事進捗率（石ころび池・水分峡大堰堤）	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	50
			達成状況	-	-	-	-	未達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		廃止工事等が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	62,570	2,000	4,081	55,900	0	589
決算	2,033	0	2,000	0	0	33

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
永田池の廃止工事については、JRとの協議を完了し、翌年度の早いうちに調査・設計を完了し、周辺住民の理解を得たうえで、工事に着手する予定です。 遠隔監視装置設置工事については、電波が受信可能な水分堰堤の設置工事を実施しました。	
作成担当課長	環境課長 小路 和司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
永田池の廃止工事については、JRや周辺住民との協議等に時間を要したため、令和3年度に事業を繰り越しました。早期に調査・設計を行い、工事に着手する予定です。 遠隔監視装置設置工事については、水分堰堤は設置しましたが、石ころび池は電波が受信できなかったため、未実施となりました。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	地域防火体制強化事業	事業番号	331101
担当部署名	消防本部	予防課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	1 火災予防体制の充実・強化		

2. 事業概要

火災件数ゼロに向け、女性防火クラブや幼年消防クラブの育成、小・中学校における防火教育、町内会・各種団体への出前防火教室を開催し、防火知識や初期消火技術の普及を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 地域住民の火災予防体制の強化を図るため各種の啓発活動を実施します。（防火教室、火災予防行事、消防署見学・体験、防火対象物の訓練指導等を合わせて60回実施）	○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、防火教室等はその大半が中止を余儀なくされましたが、その他の行事については最大限の感染防止対策を施しながら地域住民への火災予防体制の強化を図りました。 ・防火教室 3回 ・火災予防行事 15回 ・消防署見学・体験 8回 ・防火対象物訓練指導 56回 合計 82回

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	60	60	60	60	60
			実績値	141	153	151	148	82
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		防火に関する知識等を向上させることで火災予防につなげることが目的のため、啓発活動実施回数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	70	0	0	0	0	70
決算	65	0	0	0	0	65

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業目標は達成できたものの、防火教室等の開催は新型コロナウイルス感染症の影響により、その大半が中止を余儀なくされ前年度比で大幅な件数減となりました。また、開催した行事についてはマスクの着用、消毒や換気は勿論、3密を回避するため、分散開催等の感染防止対策を施しながら地域住民への火災予防体制の強化を図りました。	
作成担当課長	予防課長 瀬戸 剛

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
コロナ禍で事業展開に制約があるものの、火災予防体制の充実・強化のために新たな取組みを推進します。	
作成担当部長	消防長 新宅 和彦

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	消防団施設整備事業	事業番号	332101
担当部署名	消防本部	総務課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2 消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

老朽化した消防団第2分団詰所を、環境センター南側町有地に新築整備します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 老朽化している第2分団詰所を新築し、移転を行います。	○ 老朽化している第2分団詰所を新築し、移転を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	整備率（第3分団詰所）	%	目標値	100.0	-	-	-	-
			実績値	40.3	100.0	-	-	-
			達成状況	未達成	達成	-	-	-
②	整備率（第2分団詰所）	%	目標値	-	-	-	7.4	100.0
			実績値	-	-	-	7.4	100.0
			達成状況	-	-	-	達成	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		消防団詰所整備が目的のため、整備率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	63,743	0	0	60,200	0	3,543
決算	63,691	0	0	60,810	0	2,881

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度までの目標は、計画どおり達成しました。	
作成担当課長	総務課長 橋本 臣彦

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
引き続き消防体制の充実・強化に努めます。	
作成担当部長	消防長 新宅 和彦

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	消防自動車等購入事業	事業番号	332102
担当部署名	消防本部	警防課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3:暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2:消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

老朽化した広報調査車の更新を行い、消防体制の強化を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 計画的な消防自動車等の更新を行い、消防体制の充実・強化を図ります。 令和2年度は、広報調査車の更新を行います。	○ 広報調査車1台の更新を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の車両更新数(累計)	台	目標値	2	2	4	6	6
			実績値	2	2	4	5	6
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		計画的な更新を図るため、車両更新数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	8,521	0	0	6,300	0	2,221
決算	7,975	0	0	7,911	0	64

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度までの目標は計画どおり達成しました。	
作成担当課長	警防課長 松田 和将

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
引き続き消防体制の充実・強化に努めます。	
作成担当部長	消防長 新宅 和彦

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	初期消火強化事業	事業番号	332103
担当部署名	消防本部	警防課	
政策体系			
基本目標	3:誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3:暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	2:消防体制の充実・強化		

2. 事業概要

道路が狭い地域や消防車の到着に時間を要する地域に設置している初期消火用器具について、軽量化、取扱いの簡便化を目的に更新を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 地域に扱いやすい初期消火用器具を備え、円滑な初期消火活動による火災被害の軽減を図るため、初期消火用器具ボックスを7個更新します。 （収納品：消火用40ミリホース3本、筒先1、消火栓開閉器1、スタンドパイプ1、異径媒介金具1）</p>	<p>○ 初期消火器具ボックス7式の更新を行いました。 〈1式当たりの内容〉 初期消火器具ボックス（本体）1台 初期消火用ホース3本（口径40mm×長さ20m） 筒先（アルミ製ノズル）1本 消火栓開閉器1本 スタンドパイプ1本 異径媒介金具1個</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	地域に扱いやすい初期消火器具の設置率（累計）	%	目標値	6.4	12.7	19.1	25.5	31.8
			実績値	6.4	12.7	19.1	25.5	31.8
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		取扱いやすいホースを設置することで火災の被害軽減を図ることが目的のため、設置率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	586	0	0	0	0	586
決算	461	0	0	0	0	461

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度までの目標は、計画どおり達成しました。	
作成担当課長	警防課長 松田 和将

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
引き続き初期消火器具の更新を行い地域の防災力の強化を図ります。	
作成担当部長	消防長 新宅 和彦

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	救急体制強化事業	事業番号	333101
担当部署名	消防本部	警防課	
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3 暮らしを守る消防体制づくりの推進		
単位施策	3 救急体制の充実・強化		

2. 事業概要

増加する救急要請に対応するため、救急隊員と救急救命士を養成します。また、外国人の通報に対応するための多言語通訳機能システム、更に、聴覚・言語障害者の通報に対応するための緊急通報システムをそれぞれ導入し、救急体制の充実・強化に努めます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 救急出動件数の増加に対応するため、救急体制の再構築を図ります。 救急救命士の養成 1名 救急隊員の養成 2名 また、救急車3台に配備した画像伝送装置の活用を図り、救急体制の充実・強化に努めます。</p> <p>○ 外国人からの通報に対応するため、簡易指令台を導入し、3者間同時通訳を用いた多言語対応を行います。 また、聴覚・言語に障害を持つ方からの通報に対応するため、Net119緊急通報システムを導入します。</p>	<p>○ 救急隊員2名の養成及び救急救命士1名の養成を行いました。また、救急車3台に配備している画像伝送装置を活用して、救急患者の容態や情報を事前に収容先医療機関に提供し、救急体制の充実・強化に努めました。</p> <p>○ 外国人からの通報に対応するため、簡易指令台を導入し、3者間同時通訳を用いた多言語対応の運用を開始しました。 また、聴覚・言語に障害を持つ方からの通報に対応するため、Net119緊急通報システムを導入し、運用を開始しました。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の救急救命士養成人数（累計）	人	目標値	2	4	6	7	8
			実績値	2	4	6	7	8
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		救急体制（人員）の均一化を図ることが目的のため、養成人数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,408	0	0	0	0	6,408
決算	5,823	0	0	0	0	5,823

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度までの目標は、計画通り達成しました。	
作成担当課長	警防課長 松田 和将

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
引き続き救急救命士を養成して救急体制の充実・強化を図ります。	
作成担当部長	消防長 新宅 和彦

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	都市計画調査事業	事業番号	411101
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1 計画的な都市整備の推進		
単位施策	1 計画的な土地利用の誘導		

2. 事業概要

「地域公共交通網形成計画」に基づき、利用者ニーズを踏まえたつばきバスの運行見直しを行うとともに、公共交通不便地域等の解消を図るため、新たな交通手段導入のための試験運行を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ つばきバスの運行見直しについて検討を進め、実証運行に係る運行計画を作成します。 ・協議会（バス分科会と同時開催）開催予定 2回 ○ 公共交通不便地域等の住民に対してアンケートを実施し、利用者ニーズを踏まえた新しい交通手段の試験運行を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ つばきバスの運行見直しについて検討を進め、実証運行に係る運行計画を策定しました。 ・協議会（バス分科会と同時開催）開催 2回 ○ 公共交通不便地域等の住民に対してアンケートを実施し、利用者ニーズを踏まえた新しい交通手段であるデマンドタクシーの試験運行計画を策定しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	府中町都市計画マスタープランの策定	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	0
			達成状況	-	-	-	-	未達成
②	実施計画期間中の事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	-	0.2	0.4	22.1	100
			実績値	-	0.6	21.8	22.1	100
			達成状況	-	達成	達成	達成	達成
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		①計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。②事業の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	17,878	0	0	0	0	17,878
決算	1,767	0	0	0	0	1,767

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和元年に策定した「地域公共交通網形成計画」に基づき、府中町公共交通協議会において、つばきバスの実証運行に係る計画及びデマンドタクシーの試験運行計画を策定しました。 両計画ともアンケート結果を反映した利用者ニーズに沿うものであり、本計画に基づき、誰もが利用しやすい地域公共交通のサービス向上、公共交通ネットワークの構築を図っていきます。	
作成担当課長	都市整備課長 礪亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
つばきバスのルート・ダイヤの大幅な変更、デマンドタクシーの試験運行開始ともに当町では初の試みであり、便利で活力と賑わいにあふれるまちづくりに向けて、住民ニーズに沿った地域公共交通の見直しを推進していきます。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	向洋駅周辺土地区画整理事業	事業番号	412101
担当部署名	建設部	区画整理課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1: 計画的な都市整備の推進		
単位施策	2: 都市施設の整備		

2. 事業概要

向洋駅周辺の整備に向けた物件移転補償及び画地整備を行います。全面地整備予定面積7.82haのうち、今年度末の整備面積見込累計は4.50haです。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨年度の繰越工事で広島市との行政界にある支障雨水管φ1,500mmの撤去を行います。 ○ JR山陽本線北側の仮線用地や南側の18街区および20街区の一部で整備を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島市との行政界にある支障雨水管φ1,500mmの撤去を行いました。 ○ JR山陽本線北側の仮線用地や南側の18街区の一部で整備を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	画地整備面積(累計)	㎡	目標値	39,100	39,100	41,900	43,900	45,000
			実績値	39,371	40,064	40,064	43,938	58,464
			達成状況	達成	達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		健全な市街地の形成と生活環境の改善を図ることが目的のため、道路・公園を除いた画地の整備面積を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	324,035	30,450	6,200	204,500	38,906	43,979
決算	210,105	22,296	8,195	19,800	53,098	106,716

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
連立事業が本格的に工事着手することから、JR西日本の仮換地（軌道敷）の使用収益を開始し、画地を整備済みとみなしたので、事業目標を大きく上回りました。 今後は、連立事業と調整を行い、事業を推進します。	
作成担当課長	区画整理課長 岡村 紀行

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
連立事業が本格的に工事着手することから、JR西日本の仮換地（軌道敷）の使用収益を開始し、画地を整備済みとみなしたので、事業目標を大きく上回りました。 今後は、連立事業と調整を行い、事業を推進します。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	広島市東部地区連続立体交差事業	事業番号	412102
担当部署名	建設部	区画整理課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1: 計画的な都市整備の推進		
単位施策	2: 都市施設の整備		

2. 事業概要

広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業（鉄道高架事業に関する詳細設計等）に対し、地元負担金を支出します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担します。	○ 広島県が施行する広島市東部地区連続立体交差事業における地元負担金を負担しました。 ・ 仮線準備工事 ・ 道路整備

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	11.5	18.4	36.8	54.2	69.3
			実績値	8.9	10.3	11.0	11.6	13.1
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		県事業への負担金を支出する事業のため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	298,948	0	0	269,100	0	29,848
決算	36,803	0	0	34,640	2,162	1

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業見直しにより約7年間事業が中断されていたため事業目標は達成されていませんが、令和2年6月に広島県・広島市・JR西日本の三者で1期区間（向洋駅周辺）の工事基本協定を締結後、同年9月に工事説明会を開催し、現在は本格的に工事着手しています。	
作成担当課長	区画整理課長 岡村 紀行

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業見直しにより約7年間事業が中断されていたため事業目標は達成されていませんが、令和2年6月に広島県・広島市・JR西日本の三者で1期区間（向洋駅周辺）の工事基本協定を締結後、同年9月に工事説明会を開催し、現在は本格的に工事着手しています。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	県施行街路事業負担金事業	事業番号	412104
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4:便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1:計画的な都市整備の推進		
単位施策	2:都市施設の整備		

2. 事業概要

広島県が施行する街路事業（青崎池尻線）に対し、地元負担金を支出します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 広島県が施行する都市計画道路事業（青崎池尻線）に対し、負担金を支払うことで早期整備を促進し、交通ネットワークの円滑化を図ります。	○ 広島県が施行する都市計画道路事業（青崎池尻線）に対し、負担金を支払いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の整備延長（累計）	m	目標値	0	0	0	350	350
			実績値	0	0	0	0	0
			達成状況	-	-	-	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		県事業への負担金を支出する事業のため、整備延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	30,667	0	0	27,500	0	3,167
決算	11,152	0	0	2,752	8,400	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
青崎池尻線の整備は、当初令和元年度に完了予定でしたが、事業用地取得等の関連により、令和元年10月に事業認可が変更され、令和6年3月の完成予定となりました。 令和2年度に府中南公民館側から工事着手しており、引き続き広島県と連携、協力のうえ、事業の円滑な進捗を図ります。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和6年3月の完成に向け、引き続き広島県と協力・調整し、事業の進捗管理を行います。 なお、青崎池尻線は向洋駅に接続する主要街路であり、事業進捗にあわせ、つばきバスのルートを見直すなど、電車とバスとの乗継ぎ利便性を向上させ、向洋駅周辺の交通結節機能の強化を図ります。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	補助街路整備事業	事業番号	412106
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4:便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1:計画的な都市整備の推進		
単位施策	2:都市施設の整備		

2. 事業概要

安心・安全なまちづくりと良好な住環境を確保するため、本町40号線、みくまり14号線の整備を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ みくまり14号線の整備事業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・用地・物件補償 2件 ・道路改良工事 L=60m ○ 本町40号線の整備事業を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=120m 	<ul style="list-style-type: none"> ○ みくまり14号線の整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・用地取得 3件 ・物件移転等補償 3件 ・道路改良工事 L=65m ・橋りょう詳細設計 1件 ○ 府中公民館の建替えにあわせ、本町40号線の整備を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・道路改良工事 L=63m（半断面）

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	整備延長(累計)	m	目標値	650	650	700	700	700
			実績値	650	650	650	700	765
			達成状況	達成	達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		供用開始して効果が現れるため、整備延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	78,145	40,399	0	33,900	0	3,846
決算	61,800	33,295	0	27,242	0	1,263

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
みくまり14号線の用地取得・物件補償が円滑に進んだため、1期工事分L=65mを予定より1年早く供用開始とすることができました。また、府中公民館の建替え事業の進捗にあわせ、本町40号線の整備工事の一部を完了しました。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
補助街路整備事業は、幹線道路を補完する主要生活道路を整備することで、安全な歩行者空間の確保や緊急車両の進入路の確保など、安心安全なまちづくりの実現において重要な事業です。 前期実施計画期間においては、概ね円滑に事業が進捗し、財源を重点的に投入することで、事業目標を達成することができました。後期実施計画期間においても、効率的に事業を進めるため、費用便益比を踏まえた整備路線の抽出を行い、事業を進めていきたいと考えています。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	道路新設改良事業	事業番号	412107
担当部署名	建設部 都市整備課		
政策体系			
基本目標	4:便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1:計画的な都市整備の推進		
単位施策	2:都市施設の整備		

2. 事業概要

住民の暮らしに密着した、大須上岡田線の歩道改良工事、柳ヶ丘48号線、八幡33号線、中央小学校線の道路改良工事を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 生活道路の拡幅や歩道改良を行います。 ・大須上岡田線（本町地区）歩道 L=120m ・柳ヶ丘48号線 L=100m ・八幡33号線 L=60m ・中央小学校線 L=60m	○ 生活道路の拡幅や幹線道路の歩道改良を行いました。 ・大須上岡田線 歩道 L=76m ・柳ヶ丘48号線 L=98m ・浜田中央小学校線 L=47m ・八幡3号線 L=54m ・本町36号線 L=10m

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の整備延長（累計）	m	目標値	404	795	1,195	1,590	2,000
			実績値	361	562	903	1,388	1,673
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		事業の進捗状況を把握するため、整備延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	50,000	18,150	0	28,600	0	3,250
決算	30,160	8,107	0	6,633	0	15,420

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度の整備延長は285mであり、目標指標である年間約400mに対し未達成となりました。その要因として、当年度は、国費の内示率が予算に対し70%程度に留まり、国費の配分を補助街路整備事業に割り振ったため、当事業の予算執行を留保したことが挙げられます。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
道路新設改良事業は、住民の暮らしに密着した生活道路の拡幅による車両通行の円滑化、歩道改良によるバリアフリー化の推進など、移動空間の質的向上を図ることを目的に事業を進めています。当事業は、国費の内示率に事業の進捗が左右される状況となっており、前期実施計画期間においては事業目標が未達成となりました。後期実施計画期間においては、より有利な財源確保手法、整備路線の優先順位、より経済的な整備手法等について検討を行い、限られた財源の中、効率的な事業進捗を図り、事業目的の実現を目指します。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	狭あい道路整備等促進事業	事業番号	412108
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4:便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1:計画的な都市整備の推進		
単位施策	2:都市施設の整備		

2. 事業概要

安心・安全なまちづくりと良好な住環境を確保するため、狭あい道路の拡幅整備を促進します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 家屋の建替えや改築等にあわせ、道路幅員4mを確保するためにセットバック部分の土地を買取り拡幅整備することで、消防活動困難地域の解消を図ります。	○ 本町三丁目地区において、セットバック部分の土地を買取り、計72.0mの拡幅整備を行いました。 ・件数2件

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の整備延長（累計）	m	目標値	30.0	60.0	90.0	120.0	150.0
			実績値	34.1	52.9	99.3	160.7	232.7
			達成状況	達成	未達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		事業の進捗状況を把握するため、整備延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	8,000	4,000	0	3,600	0	400
決算	8,833	4,000	0	3,999	0	834

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成24年度の事業開始以降、狭あい道路整備対象地区（本町三丁目）における家屋の建替えなどに伴い、年間2件程度の申請があり、前期実施計画期間で計232m（目標比155%）の整備を行うことができました。国の交付金制度が令和5年度までの時限措置となっていることを踏まえ、今後の事業の方向性について検討を進めます。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
家屋等の建替えに応じ、地権者の協力により整備を進めるため、大きな進捗を望める事業ではないものの、緊急車両の進入路の確保や延焼防止など災害に強いまちづくりを進めていくため重要な事業であり、議会からも全町的な事業エリア拡大の要望が寄せられています。今後の事業の方向性については、国の動向を踏えつつ、検討を進めます。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	コミュニティバス運行事業	事業番号	412109
担当部署名	建設部	都市整備課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1: 計画的な都市整備の推進		
単位施策	2: 都市施設の整備		

2. 事業概要

住民の移動手段として、つばきバスを引き続き運行し、生活の利便性向上を図ります。また、「地域公共交通網形成計画」に基づき、下半期には利用者ニーズを踏まえた運行見直しを行うとともに、実証運行を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者ニーズを踏まえた運行ルートの変更を実証実験として実施します。 ○ つばきバスの運行ルート変更に合わせて、つばきバスバス停の設置・撤去を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 利用者ニーズを踏まえた運行ルート・ダイヤの変更計画を策定しました。 ○ つばきバスの運行ルート変更に伴う、バス停の設置・撤去は必要性を生じなかったため、実施しませんでした。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	乗客数	人	目標値	188,780	189,520	190,260	191,000	191,000
			実績値	184,364	190,293	185,471	183,335	128,914
			達成状況	未達成	達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		利用者のニーズや交通ネットワークの維持・発展のため、乗客数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	52,031	0	459	0	0	51,572
決算	51,649	0	444	0	0	51,205

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、つばきバスの利用者数が大幅に減少しました。今後、新しい生活様式が定着していくなかで、利用者ニーズに応じた地域公共交通の見直しを進めて参ります。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通全体の利用者が減少していますが、公共交通協議会を通じ、住民、運行事業者、そして行政で話し合いを進め、より良いサービスを継続していけるよう、便利で利用しやすい地域公共交通を構築していきます。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	住環境改善事業	事業番号	413101
担当部署名	建設部	建築課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1: 計画的な都市整備の推進		
単位施策	3: 住環境の向上		

2. 事業概要

「町営住宅長寿命化計画」の見直しを行います。また、良好な住環境の形成を図るため、木造住宅の耐震診断・改修やリフォーム等を行う費用の一部を補助します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「町営住宅長寿命化計画」策定時からの事業の進捗等を踏まえ、計画最終年度である令和4年度に向けて計画の見直しを行います。 ○ 旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅の耐震診断費用の一部を補助します。（補助件数5件） ○ 旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅の耐震改修工事費用の一部を補助します。（補助件数1件） ○ 子育て世帯が子供の生活環境改善のために居住する戸建て住宅のリフォーム工事を行う場合に、費用の一部を補助します。（補助件数3件） ○ 避難所への経路となる道路に面した倒壊の危険性が高いブロック塀の撤去及び新設等にかかる費用の一部を補助します。（補助件数3件） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 町営住宅の長寿命化によるコスト縮減を図ることを目的に、「町営住宅長寿命化計画」の見直しを行いました。 ○ 木造住宅耐震診断事業について、補助金交付はありませんでした。 ○ 木造住宅耐震改修事業について、補助金交付はありませんでした。 ○ 子育てあんしん住宅リフォーム支援事業について、補助金交付を2件行いました。 ○ ブロック塀安全確保事業について、補助金交付を4件行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	府中町住宅マスタープランの策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-	-	-
			達成状況	達成	-	-	-	-
②	府中町耐震改修促進計画の策定	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-	-	-
			達成状況	達成	-	-	-	-
③	実施計画期間中の事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	1.3	26.0	51.0	75.0	100
			実績値	0.9	4.0	22.9	53.8	82.4
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
④	町営住宅長寿命化計画の改訂	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	100
			達成状況	-	-	-	-	達成
指標の設定方法		①②計画策定が目的のため、計画の策定を指標としました。③事業全体の進捗状況を把握するため、事業進捗率を指標としました。④計画改訂が目的のため、計画の改訂を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,889	1,679	0	0	1,989	1,221
決算	2,636	1,218	0	0	0	1,418

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
ブロック塀安全確保補助は目標を上回る4件の補助件数を達成しました。しかし、木造耐震診断・改修補助は、相談があったものの申請に至らなかったため、目標未達成となりました。	
作成担当課長	建築課長 川口 正幸

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
木造住宅の診断補助と改修補助とも実績がなかったことにより、実績値82.4%で目標未達成となりました。引き続き、木造住宅耐震化の促進について取り組みます。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	急傾斜地崩壊対策事業	事業番号	413103
担当部署名	建設部 都市整備課		
政策体系			
基本目標	4:便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	1:計画的な都市整備の推進		
単位施策	3:住環境の向上		

2. 事業概要

宮の町三丁目地区の急傾斜地に対する崩落対策工事を引き続き行います。今年度末には3年間に渡る整備が完了します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 土砂災害から人命・財産を守るため法面崩壊対策工事をを行います。 ・ 宮の町三丁目地区 1地区	○ 法面崩壊対策工事が完了しました。 ・ 宮の町三丁目地区 1か所 ○ 法面崩壊対策工事の設計に着手しました。 ・ みくまり三丁目地区 1か所

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	急傾斜地崩壊対策箇所（累計）	箇所	目標値	-	1	1	1	1
			実績値	-	0	0	0	1
			達成状況	-	未達成	未達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		住民合意のもと行う事業のため、想定箇所数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	25,000	0	10,000	10,000	5,000	0
決算	18,831	0	7,532	7,533	3,766	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
宮の町三丁目地区の急傾斜地崩壊対策工事は、令和2年度に完了しました。また、新たにみくまり三丁目地区において事業着手しています。 平成30年7月豪雨災害以降、事業に対する相談件数が増加しており、本事業は広島県急傾斜地崩壊対策事業補助金を活用していることから、広島県との連携を強化し、対策工事の促進を図っていきます。	
作成担当課長	都市整備課長 磯亀 智

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れによる災害から人命や財産を守るため、急傾斜地崩壊危険箇所において対策工事を実施するものであり、県費と地元負担金を財源として事業を進めています。 地元負担金は総事業費の1～2割であり、妥当な負担割合と考えますが、1箇所あたりの事業費が高額となることから、事業推進の課題となっています。 新技術の採用などによる経済的な工法の選定について検討を進めるとともに、県費補助対象工事要件の緩和について県と協議を行います。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	橋りょう長寿命化事業	事業番号	421101
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2: 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1: 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

「橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき、橋りょうの定期点検（22橋）、改修工事（2橋）を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 「広島県定期点検要領」に基づき、5年に1回行うことを基本に定期点検を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検 22橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・工事橋数 2橋 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県定期点検要領に基づき、定期点検を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検 22橋 ○ 橋りょうを長寿命化するための工事を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・工事橋数 3橋

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施橋梁数（累計）	橋	目標値	3	5	7	9	10
			実績値	2	3	4	10	11
			達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		橋りょうの補修・改修が目的のため、実施橋梁数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	33,787	18,480	0	13,600	0	1,707
決算	23,425	12,780	0	10,457	0	188

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
本事業は、国の補助金を活用して進めています。令和2年度は補助金の内示率が高く、改修工事を計画していた2橋から、早期に改修が必要な1橋を追加発注しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で補修材の納期に遅れが生じたため、追加した1橋について令和3年度に工事を繰り越しています。	
作成担当課長	維持管理課長 谷口 洋二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
令和2年度は国の補助金の内示率が高かったため、計画を前倒しして事業の進捗を図りました。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	道路補修等事業	事業番号	421102
担当部署名	建設部	維持管理課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	2: 社会資本の安定的な供給		
単位施策	1: 公共施設の計画的な維持・保全		

2. 事業概要

安全な生活環境を確保するため、道路等公共施設の維持補修等を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 府中町道路舗装修繕計画書に基づき、舗装の損傷度が高い道路から、順次舗装の補修を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・大須上岡田線 L=130m ・埃宮総社線 L=160m ・鶴江鹿籠線 L=240m ・鹿籠14号線 L=210m ・柳ヶ丘南北線 L=130m 要望が多く、舗装の損傷度が高い道路の補修を行います。 <ul style="list-style-type: none"> ・山田21、23号線 L=80m ・鹿籠12号線 L=160m ・柳ヶ丘34、36号線 L=70m ・柳ヶ丘71号線 L=90m ○ 老朽化している水路を改良します。 <ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 50m ○ 里道排水の民有地への流入を防止します。 <ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 50m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行います。なお、県道に係る一定の維持管理については、県の交付金により行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道路舗装修繕計画に基づき、舗装の損傷度が高い道路から舗装の補修を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・補修延長 L=1,763m ○ 老朽化している水路を改良しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=30.2m ○ 里道排水の民有地への流入防止工事を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・施工延長 L=51.6m ○ 町道および県道の維持補修等業務及び街路樹の維持管理業務を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・町道の維持補修 143件 ・県道の維持補修 38件

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	修繕実施道路延長（累計）	m	目標値	1,490	2,790	4,140	5,090	6,000
			実績値	1,109	1,910	2,489	3,143	4,906
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		事業の進捗状況を把握するため、修繕実施道路延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	108,311	0	19,372	44,700	0	44,239
決算	97,274	0	15,322	15,549	0	66,403

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
大型バスが通行する街路の舗装修繕については、運行への影響を避けるため、夜間施工により対応したほか、既存の舗装が想定していたよりも厚く、舗装の破碎・処分量が増加したため、施工費が上がり、目標とされていた修繕延長までの実施に至りませんでした。	
作成担当課長	維持管理課長 谷口 洋二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
大型バスの運行への影響が懸念される路線を夜間施工としたことや、既存の舗装厚さが想定より厚く、破碎・処分量が増加したことから、施工費が上がり修繕延長が伸びず、目標未達成となりました。	
作成担当部長	建設部長 井上 貴文

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	公共下水道整備事業（污水）	事業番号	431101
担当部署名	町民生活部	下水道課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	3: 快適・安全な生活環境の確保		
単位施策	1: 生活環境の向上		

2. 事業概要

公共下水道の整備を促進するため、砂原第2処理分区及び青崎第2処理分区において、延長1,967m、面積4.7haの面的整備を進めるとともに、私道への公共下水道の排水施設設置制度を活用し、水洗化率の向上を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 公共用水域の水質保全と快適な生活環境の向上を図るため、公共下水道污水管（内径200mm）を1,907m布設します。 水洗化率の向上を図るため、私道への公共下水道の接続を促進します。 管きよ埋設に伴う舗装整備等を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道污水管（内径200mm）を1,727m布設しました。 私道内整備を7路線行い、水洗化率の向上を図りました。 管きよ埋設に伴う舗装整備等を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	下水道整備率（累計）	%	目標値	89.7	90.5	91.5	92.2	93.0
			実績値	90.0	91.1	91.5	92.1	93.8
			達成状況	達成	達成	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		整備事業の直接的な成果である下水道整備率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	429,200	137,900	0	273,900	9,714	7,686
決算	305,167	104,539	0	186,900	13,728	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
計画どおり整備区域の拡大が図れています。	
作成担当課長	下水道課長 原田 司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標を達成しています。令和7年度までの概成を目指し、今後も事業を継続していきます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	県施行太田川流域下水道事業負担金事業	事業番号	431102
担当部署名	町民生活部	下水道課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	3: 快適・安全な生活環境の確保		
単位施策	1: 生活環境の向上		

2. 事業概要

東部浄化センター等、広島県が施行する太田川流域下水道の整備費に対し、各受益市町の計画下水量の割合に応じ、負担を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 東部浄化センターの管渠設備の更新や、処理場施設の耐震化及び設備の更新工事に係る費用の一部を負担します。	○ 東部浄化センターの管渠設備の更新や、処理場施設の耐震化及び設備の更新工事に係る費用の一部を負担しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の事業進捗率(事業費ベース)	%	目標値	10.0	30.0	50.0	80.0	100
			実績値	6.2	19.0	29.5	36.0	40.8
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		県事業への負担金を支出する事業のため、事業進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	33,470	0	0	33,400	0	70
決算	11,541	0	0	11,500	41	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
県事業への負担金額を指標としており、当初より県の事業費が減少しているため目標は未達成となりました。	
作成担当課長	下水道課長 原田 司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
負担金が計画当初より減額となり未達成となりましたが、整備は計画どおり実施されました。下水道汚水の安定的な処理を行うため、今後も事業を継続していきます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	公共下水道長寿命化事業	事業番号	432101
担当部署名	町民生活部	下水道課	
政策体系			
基本目標	4: 便利で活力と賑わいにあふれるまちづくり		
基本施策	3: 快適・安全な生活環境の確保		
単位施策	2: 市街地の浸水対策		

2. 事業概要

平成28年度に策定した雨水幹線ストックマネジメント計画に基づき、国の令和元年度補正予算で交付される社会資本整備総合交付金を活用して、府中1号幹線改築更新工事を継続して実施するとともに、府中ポンプ場の電気設備の更新に着手します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 雨水幹線ストックマネジメント計画に基づき、府中1号幹線の改築更新工事をを行います。（L=90m） ○ 府中ポンプ場の電気設備の更新に着手します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 府中1号幹線の改築更新工事をL=124m実施しました。 ○ 府中ポンプ場の電気設備の更新に着手しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	実施計画期間中の管渠改修延長（累計）	m	目標値	-	-	100	200	300
			実績値	-	-	149	295	419
			達成状況	-	-	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		長寿命化事業の直接的な成果である管渠改修延長を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	257,122	121,416	0	131,400	0	4,306
決算	189,345	90,000	0	99,300	45	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
計画どおり事業を進めています。	
作成担当課長	下水道課長 原田 司

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標を達成しています。市街地浸水対策として、施設の安定的な機能を保つための重要な事業であることから、今後も積極的に事業を進めます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	総合計画推進事業	事業番号	511101
担当部署名	総務企画部	政策企画課	
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策	1 戦略的なまちづくりの推進		

2. 事業概要

「住んでよかった、住んでみたい」と思えるまちの実現を目指し、「第4次総合計画」の前期中における中間評価、並びに後期へ向けた改訂業務に継続して取り組むとともに、後期実施計画を策定します。また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の次期計画を策定します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<p>○ 行政評価制度に基づき、令和2年度事業の計画策定、及び令和元年度事業の施策評価・事務事業評価を実施します。</p> <p>また、まちづくり推進懇話会を開催して意見を聴取し、これを踏まえて「第4次総合計画」の改訂および後期実施計画の策定を行います。</p> <p>○ まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、令和元年度末における総合戦略の取り組みの検証を行います。また、本会議での意見を踏まえて次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、人口ビジョンの見直しを行います。</p>	<p>○ 前期期間における政策評価を実施し、これを踏まえて「第4次総合計画」の改訂および後期実施計画の策定を行いました。</p> <p>○ まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催し、総合戦略の第1期計画期間における取り組みの成果と課題を抽出し、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、「人口ビジョン」の見直しを行いました。</p>

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	事務事業評価指標の目標達成率	%	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績値	59.6	64.9	62.5	60.0	60.4
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		総合計画の進行管理が目的のため、各事務事業評価指標の目標達成率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	10,952	0	0	0	2	10,950
決算	8,776	0	0	0	0	8,776

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事務事業91指標のうち、目標値を達成したのは55指標であり、実績値は60.4%となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業も複数ありますが、未達成の要因は様々です。令和2年度は前期期間における成果と課題を踏まえ、事業内容・指標をより精査した後期実施計画を策定しました。	
作成担当課長	政策企画課長 土井 賢二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
実績値は前年度対比0.4ポイント上昇しましたが、前期最終年度も引き続き未達成となりました。要因は様々であり一概には特定できないと考えています。令和2年度は前期期間における成果と課題を踏まえ、事業内容・指標をより精査した後期実施計画を策定しました。	
作成担当部長	総務企画部長 増田 康洋

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	魅力発信事業	事業番号	511103
担当部署名	総務企画部	政策企画課	
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	1 総合的なまちづくりの推進		
単位施策	1 戦略的なまちづくりの推進		

2. 事業概要

当町の住環境等の魅力を、令和元年度制作のPRアニメ、パンフレット等様々な媒体を活用して町内外へ効果的に発信し、「住んでよかった、住んでみたい」まちとしての認知度向上を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 令和元年度制作のPRアニメを活用した広告・パブリシティを積極的に推進し、町の認知度向上を図ります。 ○ 移住フェアやイベントなどを通じて、来場者にパンフレット等による魅力紹介（直接プロモーション）を行います。 ○ PR大使やまち記者など、さまざまな関係者と連携、協力し、SNS等を積極的に活用した町外への魅力発信を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PRアニメを活用した映画館広告・街頭ビジョン宣伝を実施するとともに、PRキャラクター「椿町ファミリー」を活用した公用車ラッピング、パネル展などを行いました。 ○ オンライン（Web）での移住フェア、移住相談会に参加し、町の魅力紹介を行いました。 ○ まち記者と協働し、SNS投稿に「#府中町まち記者」のタグをつけて29件の情報発信を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	認知度	%	目標値	-	-	向上（前年度比）	向上（前年度比）	向上（前年度比）
			実績値	-	(59.9)	61.8	60.6	63.2
			達成状況	-	-	達成	未達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		魅力を効果的に発信することが目的のため、広島県内居住者（20～49歳）へのWEBアンケートによる認知度を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	4,582	0	0	0	84	4,498
決算	2,963	0	0	0	79	2,884

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標値を達成するとともに、住みこちに関する民間調査でも2年連続1位となるなど、順調に推移しています。一方、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、対面イベントの実施が難しくなるなど環境変化も生じており、より効果的な展開を進めるため「新たな生活様式」に即した事業の検討なども進めていく必要があります。	
作成担当課長	政策企画課長 土井 賢二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
様々な活動実績が前年度対比2.6ポイントの増加につながり、目標値を達成できました。引き続き、「住んでよかった、住んでみたい」まちとしての認知度向上に取り組めます。	
作成担当部長	総務企画部長 増田 康洋

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	自治制度調査事業	事業番号	512101
担当部署名	総務企画部	政策企画課	
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	1:総合的なまちづくりの推進		
単位施策	2:自治の体制強化		

2. 事業概要

行政サービスの効率的な運営並びに質の向上を図るため、連携中枢都市圏制度を活用した広島広域都市圏内自治体との連携を推進します。また、地域共通ポイント事業の取り組みを引き続き行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 協議会・連絡会・各部会へ参加し、圏内自治体と意見交換等を行うとともに、連携を図ります。 圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化及び圏域全体の生活関連機能サービスの向上に関する取組みを、圏内自治体と協力して実施します。 経済活動及び住民の地域活動の活性化を目的として、イベント来場者に広島広域都市圏地域共通ポイントを発行し、集客数の増加を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 各自自治体の首長が出席し議事を協議する協議会、各種事業の連絡調整を行う連絡会、ものづくりや観光振興等の専門部会等へそれぞれ参加し、連携を図りました。 各種連携イベントの情報発信や情報誌の発行を行いました。 広島広域都市圏発展ビジョンに基づき、広島地区病院群輪番制病院運営費補助など、各種事業を展開しました。 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、町主催イベントでの広島広域都市圏地域共通ポイントの発行は見送りました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	情報発信回数(累計)	回	目標値	1	3	5	7	9
			実績値	1	10	22	32	41
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		広島広域都市圏に係る連携事業での情報発信回数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	396	0	0	0	0	396
決算	81	0	0	0	0	81

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
平成28年3月の広島市との連携中枢都市形成に係る連携協約の締結から5年が経過し、情報発信や各種事業の展開など軌道に乗ってきています。指標の実績値も順調に進捗しています。	
作成担当課長	政策企画課長 土井 賢二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
広島広域都市圏内自治体と協力・連携し、圏域の自律的・持続的な発展へ向け、構成自治体としての役割を果たしていく必要があると考えます。	
作成担当部長	総務企画部長 増田 康洋

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	広報広聴事業	事業番号	522101
担当部署名	総務企画部	政策企画課	
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	2:自治を支える安定した行財政運営		
単位施策	2:広報広聴の充実		

2. 事業概要

誰もが分かりやすく親しめる情報発信のため、引き続き「広報ふちゅう」の記事内容の充実に努めるとともに、ホームページ・公式SNSの活用促進を図ります。また、町勢要覧について、前回の作成から4年が経過するため、内容を更新します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> 毎月1回（年12回）広報を発行することにより、町の施策や情報を町民に広く周知します。また、関係課と協力して隔月実施している特集記事等について、積極的な取材を行い、親しみがもてる紙面づくりを進めます。 公式ホームページ・SNSを活用し、町の施策や情報についてタイムリーな情報発信を進めます。また職員向けに活用研修会を実施し、発信量の増加につなげます。 町の紹介冊子「町勢要覧」の内容を時点修正し、発行・配布します。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に係る支援情報、予防対策等の特集記事を概ね隔月でとりまとめ掲載しました。 報道対応力向上を目的とした研修会を開催するとともに、対応マニュアルを改訂しました。 ホームページにおいて新型コロナウイルス感染症情報などのタイムリーな発信を続けるとともに、町民の利便性向上を目的に、ホームページ、町公式LINEにAI自動応答システムを導入しました。 町の紹介冊子「町勢要覧」を時点修正し、発行しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	ホームページ閲覧件数	件	目標値	1,400,000	1,550,000	1,700,000	1,850,000	2,000,000
			実績値	1,535,076	1,752,801	1,765,449	2,285,687	4,035,413
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		行政や地域の情報発信の充実が目的のため、ホームページ閲覧件数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	11,082	10	0	0	1,833	9,239
決算	12,440	9	0	0	1,746	10,685

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標値を大きく上回る形で達成しています。一方、情報技術の革新により情報の入手手段や方法は変化しつつあり、特に現在、情報入手の中心となっているスマートフォンからのホームページ閲覧性の向上などが急務となっています。	
作成担当課長	政策企画課長 土井 賢二

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症などの社会背景はあるものの、地道な活動実績が実績値の増加、目標値の達成につながっているものと考えます。	
作成担当部長	総務企画部長 増田 康洋

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	まちづくり振興基金積立金事業	事業番号	523101
担当部署名	財務部	財政課	
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	2 自治を支える安定した行財政運営		
単位施策	3 財政基盤の安定化		

2. 事業概要

公共施設の老朽化等を見据え、改修等に必要な財源を安定的に確保するため、まちづくり振興基金への積立を行います。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ まちづくり振興基金へ、一般財源により5,000千円の積立を行います。	○ まちづくり振興基金へ、一般財源により5,140千円の積立を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	まちづくり振興基金への積立（一般財源による）	円	目標値	-	-	-	積立	積立
			実績値	-	-	-	積立	積立
			達成状況	-	-	-	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		まちづくり振興基金への積立が目的のため、まちづくり振興基金へ積立てることを指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,000	0	0	0	0	5,000
決算	5,140	0	0	0	0	5,140

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、国からの交付金により財源が確保されたことや、事業の中止等による歳出抑制等により、積立の目標を達成することができました。	
作成担当課長	財政課長 中本 孝弘

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響が懸念されましたが、対応について国・県からの財政措置があったこと、税金等の落ち込み等について減収補てん債で対応したこと、扶助費等の歳出が予算額から大幅に減額となったことなどにより、まちづくり振興基金の積立目標を達成することができました。	
作成担当部長	財務部長 胡子 幸穂

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	証明書等コンビニ交付事業	事業番号	531101
担当部署名	町民生活部	住民課	
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	3:住民に便利な行政サービスの提供		
単位施策	1:多様な行政サービスの提供		

2. 事業概要

個人番号カードの活用による住民票の写し等の交付を全国のコンビニで実施し、引き続き住民の利便性向上を図ります。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの普及率上昇を促進するため、申請時来庁方式やマイナポータルの端末を利用した申請補助等を行います。 マイナンバーカードによるコンビニでの証明書が取得可能であることを住民に広報します。 	<ul style="list-style-type: none"> 住民票、印鑑証明書及び戸籍等をコンビニ等で交付しました。（1,589件） マイナンバーカードの交付枚数は年度末時点で17,253枚を交付しました。（交付率33.1%） 広報活動として、マイナンバーカード交付、電子証明書更新及び各種証明書等交付を行った住民に対しチラシを配布したほか、広報ふちゅう及びホームページへの掲載、本庁ロビー、つばきバス内及びつばき館でのお知らせ表示などPRを行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	証明書コンビニ交付割合	%	目標値	2.00	10.00	15.00	20.00	25.00
			実績値	0.00	0.32	0.71	1.13	3.72
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		利便性の向上を図ることが目的のため、証明書コンビニ交付の割合を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,131	0	0	0	1,143	4,988
決算	6,011	0	0	0	1,143	4,868

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
事業指標は前年度より約2.6ポイント上昇しました。広報活動に加え、マイナンバーカード保有者の増加が要因と考えられます。今後もマイナンバーカードの交付促進及びコンビニ交付を周知することとします。	
作成担当課長	住民課長 大原 洋和

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標は達成できていませんが、対前年度比3倍強の伸びとなっています。マイナンバーカードの交付が増えたことが起因しており、今後もマイナンバーカードの交付を促進していく必要があります。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	情報プラザ運営事業	事業番号	531102
担当部署名	町民生活部	住民課	
政策体系			
基本目標	5 持続可能なまちづくり		
基本施策	3 住民に便利な行政サービスの提供		
単位施策	1 多様な行政サービスの提供		

2. 事業概要

地域の情報等の提供、住民票の写し等の証明書交付、公金収納等の行政サービスを行うため、引き続きイオンモール広島府中内の「ふちゅう情報プラザつばき館」を運営します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民の身近な行政情報をはじめ地域の情報等の提供や、土日等の休日及び夜の8時までの住民票等の証明書の交付や徴税等の収納を行うことで、住民サービスの向上を図ります。 ○ 業務内容を勘案し、運営方法（再任用職員の配置検討やアウトソーシング等）を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民票等の証明書を交付したほか、町税等の収納を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> ・証明交付数：4,767件 ・町税等収納：4,476件 ○ 新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数が前年度より減少しました。来館者のうち「観光案内、その他」が64%を占め、情報等の提供の場として利用されています。 ○ 今年度から火葬許可証の発行を業務内容に追加し、役場閉庁日に申請を受付けています。 ○ アウトソーシングについて、既に導入を行った自治体に加えて事業者から資料収集を行いました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	情報プラザ来館者数	人	目標値	17,200	17,300	17,400	17,500	17,600
			実績値	25,900	23,850	24,550	24,619	17,931
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		利便性の向上と情報発信が目的のため、情報プラザ来館者数を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	13,811	0	0	0	605	13,206
決算	13,471	0	0	0	308	13,163

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
新型コロナウイルス感染症の影響を受け、来館者数が前年度より減少しましたが事業目標は達成しています。証明書等交付及び町税等収納に係る業務は本庁舎閉庁時に利用されることで住民の利便性の向上が図られています。今後も地域に身近なサービス提供の場として利用しやすい窓口と行政情報の提供を図ります。	
作成担当課長	住民課長 大原 洋和

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
目標は達成していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数は前年度を下回っています。引き続き、行政サービスの充実、地域の情報や町の魅力の発信に取り組めます。	
作成担当部長	町民生活部長 金光 一隆

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	庁舎改修等事業	事業番号	531103
担当部署名	総務企画部	総務課	
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	3:住民に便利な行政サービスの提供		
単位施策	1:多様な行政サービスの提供		

2. 事業概要

火災等が発生した場合に適切な避難誘導等を行うため、老朽化した役場庁舎の自動火災報知設備受信機を更新します。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
○ 役場庁舎の自動火災報知設備受信機を更新します。	○ 役場庁舎の自動火災報知設備受信機を更新しました。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	自動ドア改修工事	%	目標値	100	-	-	-	-
			実績値	100	-	-	-	-
			達成状況	達成	-	-	-	-
②	エレベータ耐震対策	%	目標値	-	100	-	-	-
			実績値	-	100	-	-	-
			達成状況	-	達成	-	-	-
③	非常用自家発電設備工事	%	目標値	-	-	-	100	-
			実績値	-	-	-	100	-
			達成状況	-	-	-	達成	-
④	自動火災報知設備受信機更新	%	目標値	-	-	-	-	100
			実績値	-	-	-	-	100
			達成状況	-	-	-	-	達成
指標の設定方法		施設改修等が目的のため、進捗率を指標としました。						

5. コスト情報

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	6,600	0	0	6,600	0	0
決算	5,478	0	0	5,478	0	0

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
計画どおり自動火災報知設備受信機更新工事を行い、目標値を達成しました。	
作成担当課長	総務課長 森本 雅生

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
庁舎の安心・安全に資する事業として予定どおり執行し、目標を達成しました。	
作成担当部長	総務企画部長 増田 康洋

令和2年度 事務事業評価シート（評価）

1. 基本情報

事務事業の名称	個人番号カード交付促進事業	事業番号	531104
担当部署名	町民生活部		
政策体系			
基本目標	5:持続可能なまちづくり		
基本施策	3:住民に便利な行政サービスの提供		
単位施策	1:多様な行政サービスの提供		

2. 事業概要

役場来庁者への申請勧奨や申請受付、また出張申請受付等を行い、個人番号カードの交付促進を図ります。また、国が進めるマイナポイント事業の啓発に努めます。

3. 活動計画・活動実績

活動計画	活動実績
<ul style="list-style-type: none"> マイナンバーカードの普及率上昇を促進するため、申請時来庁方式やマイナポータルの端末を利用した申請補助等を行います。 出張申請受付を計画的に実施し、マイナンバーカードの普及を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> マイナポイント事業の開始並びに平日来庁することが難しい住民の利便性に配慮し、夜間・休日に窓口を開設して、マイナンバーカードの申請及び交付数の増加を図りました。 交付枚数17,253枚 交付率33.1% 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、出張申請受付が実施できませんでした。

4. 事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
①	マイナンバーカード交付枚数(累計)	枚	目標値	-	-	-	-	9,577
			実績値	-	-	-	-	17,253
			達成状況	-	-	-	-	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		マイナンバーカードの普及が目的のため、交付枚数を指標としました。						

5. コスト情報

(単位:千円)

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
当初予算	5,128	4,788	0	0	0	340
決算	5,949	5,819	0	0	0	130

6. 評価（課長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
マイナポイント事業の開始並びに平日来庁することが難しい住民の利便性に配慮し、夜間・休日に窓口を開設して、マイナンバーカードの申請及び交付数の増加を図りました。交付枚数17,253枚、交付率33.1%と事業目標を達成しています。	
作成担当課長	住民課長 大原 洋和

7. 評価（部長評価）

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
交付促進の取り組みにより目標を達成しました。マイナンバーカード普及のため、出張申請など申請サポートに取り組む必要があります。	
作成担当部長	町民生活部 金光 一隆